

北海道
大 学

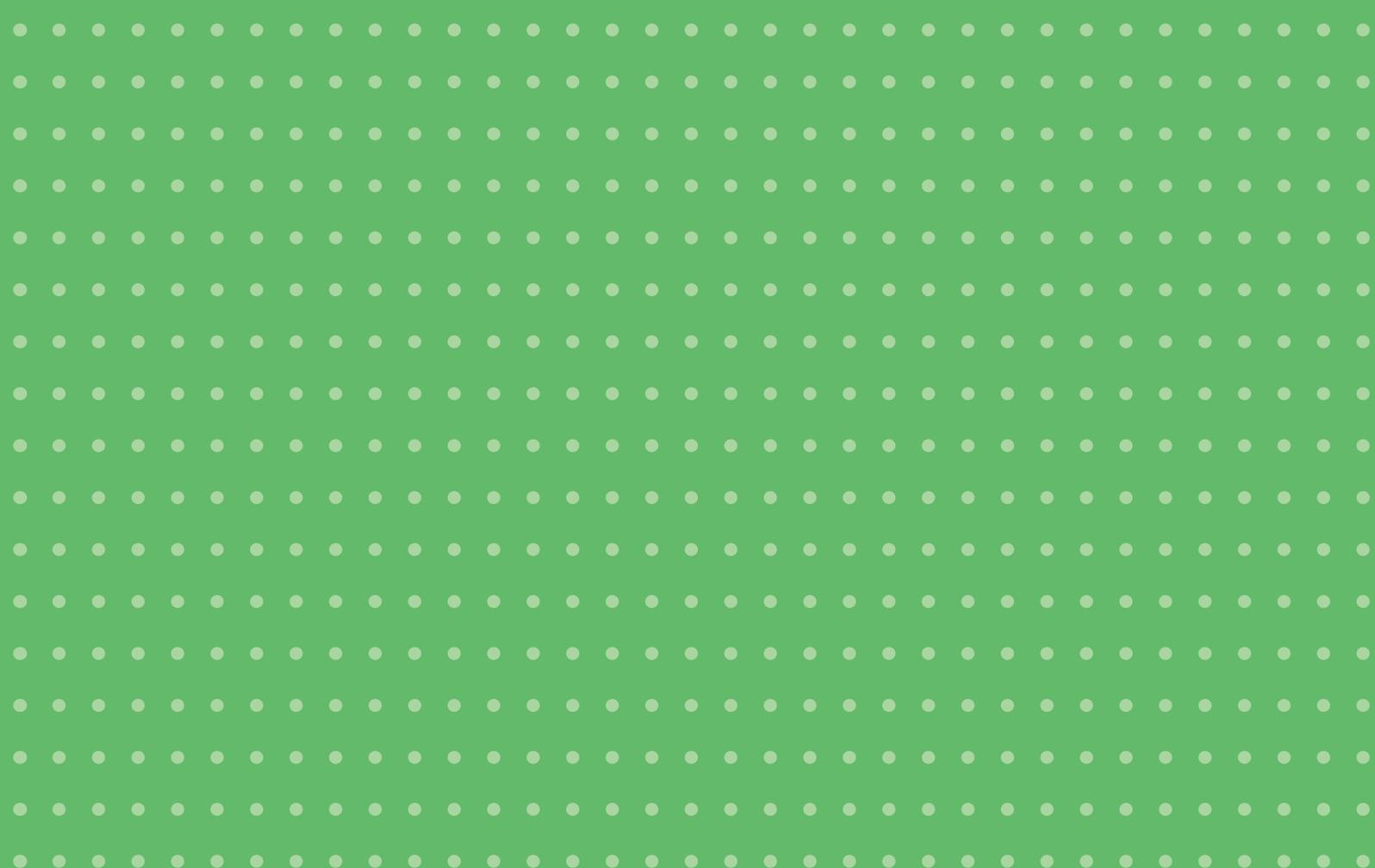
附 属

図 書 館

年 報

2019

Hokkaido University Library
Annual Report



Contents

館長巻頭言	1
平成 30 年度 Topics	
1. 教育学習支援	2
2. 研究支援	9
3. 社会貢献と国際化	12
4. その他	17
令和元年度重点項目	19
連携事業	21
ガイダンス・講習会	22
活動日誌	24
学外講師派遣等	26
職員研修	27
統計	28
図書館委員会名簿	32
組織図	33
人事往来	34

北海道大学附属図書館のミッション

附属図書館は、北海道大学の4つの基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、人類の知的資産である学術情報の集積・提供・発信を行い、未来に向けて、知の交流・創成の場として機能する。その実現のために、以下の目標掲げる。

教育学習支援

豊かな情報資源と快適かつ刺激的な学習空間を提供し、自ら学び、課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

研究支援

世界水準の研究を推進するため、本学の研究者が必要とする情報資源を持続的に利用できる環境を整備する。また、本学の研究成果の保存と発信に責任を負う。

社会貢献と国際化

北海道地区における唯一の総合大学の図書館として、他図書館に対する支援を行い、地域住民の生涯学習を支援する。また、海外の大学図書館と協力関係を構築し、交流を推進する。

組織運営

学生、教職員及び研究者と連携・協働し、大学における教育研究支援機能を強化する組織づくりを目指す。図書館職員は図書館や学術情報流通に関する専門性に加え、大学を取り巻く社会の環境変化に対応できる専門性を磨く。

附属図書館年報 2019 年版の刊行に 当たって

北海道大学附属図書館の起源は、1876（明治9）年に札幌農学校の開校と同時に設置された「書籍室」にあり、1891（明治24）年に「書籍館」主任に就任した新渡戸稲造をもって初代館長としています。以来、附属図書館は本学の発展と歩みを共にし、現在では総蔵書数378万冊余り、電子ジャーナル・電子ブック提供タイトル数約5万5千点、年間入館者数およそ146万人を誇るわが国有数の大学図書館に成長して来ました。また、本学の附属図書館は、全国の大学図書館の中にあつて、機関リポジトリ HUSCAP の拡充はもとより、国連寄託図書館としての国際協力カフェの主催、部局教員との連携による自然科学や社会科学の一般教養を深めるセミナー・シリーズの開催、学生の教育支援策の一環としての「英語多読マラソン」の実施や「アカデミックスキルガイド」の作成・公開など、種々の意欲的な取り組みでもよく知られるようになってきました。

附属図書館の使命は、言うまでもなく、学術情報基盤の基軸をなす組織・施設として大学の教育・研究・社会貢献を支えるところにありますが、その具体的なあり方は時代の要請に応じて変化します。21世紀に入って社会や大学がICT革命やグローバリゼーションの真只中にあり、地球規模の競争や拮抗が出現した変容している今日、附属図書館の果たすべき役割もまた大きく変化しつつあることは明らかです。特に顕著な変化の一つは、しばしば強調されている「オープンアクセス」や「オープンサイエンス」といった言葉に象徴される、図書館の公共的な役割・機能の重要性です。学術論文等のリポジトリの拡充と自由なアクセスによって研究の発信・公開が加速され、新たな学問的知見の拡大が進むことに加えて、昨今では、公的研究資金を用いた研究成果について社会全体から広く容易な利用を可能にして知やイノベーションの創出に新たな道を開くことを目指すといった動きも促進されつつあります。これらの動向には、大学での学術的研究がアカデミズムの内だけでなく、社会的側面も有する全体的な知的活動であり、社会における公共的な財産であるという見方が含まれています。そして、この公共的な知識等の保存や維持に関わるという新たな意味でも、図書館の役割が大きくなっています。



附属図書館長

長谷川 晃

大学の学問がまずは各専門分野の先端的な研究に導かれ、それが学部や大学院の充実した教育に支えられているものである点で、附属図書館の役割がこの

ような研究・教育の支援にあることは、以前と変わらず重要な、図書館の基盤的活動です。さらに、この点では、近年、専門分野の区別を超える様々な学問的協働によって新たな視座を開拓することにも、各分野の書籍や資料を保存している図書館が果たす役割には重要なものがあるでしょう。それに加えて、上述のように、図書館にはさらに社会のニーズに応えるために、関係機関や組織との連携を深め、一般市民の知的好奇心を喚起し、また満たし、そしてイノベーションにも資するという役割も期待されるようになってきました。

これら新旧相混じり合った多角的な役割・機能を担ってゆくためには、図書館における業務や活動がいつそう多面的に展開されるだけでなく、それらの諸活動が図書館のアイデンティティの不断の革新のための要素として有機的に結合されてゆくことが肝要と思われれます。そしてそのためにこそ、ここに公開する年報のような活動記録を残してゆくことが改めて重要な意味を持つことになるでしょう。

本年報は、基本的に昨年度における附属図書館の活動を報告するもので、まずは附属図書館がどのような活動を行ってきたかをご理解いただき、また振り返るための資料となるものです。しかしながら、このようなまとめの真の意義は、図書館の新たな活動に向けて一步を踏み出すための現段階でのマッピングとそれによる熟思によって、新たな年の活動の手がかりとすることにあります。附属図書館スタッフの方々のご自己点検はもとより、関係各位におかれましてもいつそうのご理解・ご教示、そしてご支援を衷心からお願い申し上げます。

平成 30 年度 Topics

1 教育学習支援

A 学習支援

(1) アカデミックスキルセミナー

本学の進路・修学の相談対応や学生の主体的な学習を支援するラーニングサポート室と協働・企画運営し、学習・研究スキルに関するセミナーの開催や事業に協力した。

1) スタディ・スキルセミナー

大学での学習の基本となる「スタディ・スキル」を身につけるためのセミナーを春と秋に開催した。対象は主に学部学生1、2年次で「大学での授業の受け方」「論説型レポート、実験レポートの書き方」「文献の探し方」等をテーマに34回開催し、計630名が参加した。「文献の探し方」は図書館情報入門を30分に短縮した内容で、図書館職員が講師を担当している。

2) 高校物理の補講

高校で物理を選択していない初年次学生を対象とした物理を復習する補講を北図書館で開催した。北海道胆振東部地震の影響で期間の短縮や参加できなかった学生がいたため、11月に第2回を開催した。第1回、第2回合わせて57名が参加した。

月	火	水	木	金
4/16	17	18	19	20
23	24	25	26	27



ポスターと講習会の様子

(2) めざせ100万語！英語多読マラソン



スタートアップガイダンスの様子

多読マラソンの普及のため、4月23日（月）及び4月26日（木）、北図書館グローバルフロアにおいて、「スタートアップガイダンス」を開催し、計28名が参加した。高等教育推進機構畑中貴美特任講師からは、多読の進め方の紹介があった。また多読を進めている先輩学生からは、続けるコツやおすすめの資料の紹介があった。終了後も、畑中先生や先輩学生と参加者がおすすめのシリーズについて話し合う様子が見られた。

コンテンツ面では、昨年度に引き続き電子ブックを拡充した。ポスターやメールマガジン等で告知するとともに、web本棚サービス「ブックログ」にて電子ブックの一覧を作成、公開した。

今年度は多読マラソンに258名が参加し、参加者数の累計は1,445名になった。

メディア・コミュニケーション研究院の高見敏子准教授は病氣療養中のところ、平成30年10月19日（金）に逝去されました。高見先生には、平成17年に北図書館に英語多読資料コーナーができた当初から、平成25年の英語多読マラソンの導入、ガイダンスでのご講演、多読資料のご恵贈など、さまざまにご協力をいただき、本学の多読・多聴による英語教育を主導していただきました。

今後も北大の教育・研究の発展にご尽力いただけたはずの高見先生の早すぎご逝去は言葉に表せないほど残念です。

謹んで哀悼の意を表すとともに、これまでの貢献に深く感謝いたします。

(3) 北海道大学生協同組合書籍部・北図書館合同新生応援展示「ようこそ北大へ！新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本」



展示の様子

4月6日(金)～6月7日(木)、北図書館で「新生応援展示「ようこそ北大へ！新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本」を行った。この展示は、北海道大学生協同組合書籍部と連携して実施したもので、同じタイトルの本が北大生協では購入でき、北図書館では借りることができるよう、同時期に開催した。アカデミックスキル(レポート・論文の書き方、プレゼンのしかた)、ライフスキル&コミュニケーション、新生活応援、北海道関連といった、新入生の北海道での新生活のスタートを応援する図書をそれぞれの会場で展開した他、北大生協及び北図書館の広報ポスターやチラシ等も一緒に展示した。

展示した246冊全てが貸し出され、貸出回数は延べ934回となった。

(4) 「本は脳を育てる」図書展示



展示の様子

「本は脳を育てる」企画は、本学の教職員が学生、特に新入生に読んでほしい図書を推薦文と共にWEBサイトで紹介するもので、学生の知的基盤育成の支援を目的と

して平成17年から実施している。

その特別展示を11月21日(水)～1月31日(木)にかけて開催した。「本は脳を育てる」のWEBサイトで公開中の約520点の資料のうち最近推薦されたものを中心に学生の思考の土台となる教養・リベラルアーツの醸成に役立つような資料159点を展示した。100点が延べ281回貸し出され、展示スペースではコメントに見入りながら本を選ぶ学生の姿が見られた。

また、最近推薦された46冊について、書誌情報と推薦コメントを冊子にしたところ、すぐに配布予定数に達した。

(5) 図書展示「読書の秋」学問の秋！北大の先生の著作を読んでみよう」



展示の様子

10月1日(月)～11月16日(金)に教員著作物コーナーにある図書の特別展示を開催した。

本館には教員著作物コーナーがあり、本学教員から恵贈を受けた図書を通常の開架図書とは別に配架している。

教員の研究成果物である学術書を通じて、学生が北大で行われている研究の一端を知る契機となるよう企画した。直近2年半の間に教員著作物コーナーに配架され、展示開始時点で教員が北大に在籍している35冊を展示し、延べ58回貸し出された。

(6) 「物理」「数学」「統計学」「化学」入門図書展示

7月13日(金)～8月27日(月)、北図書館で「【物理 数学 統計学 化学】入門図書展示」を行った。これは、高等教育推進機構ラーニングサポート室と連携して実施したもので、同部門スタッフが推薦する入門図書を、紹介者のオススメコメントと共に展示した。併せて、学習ガイド「物理のコツ」「統計学のススメ」を配布した。期間中、展示図書30冊のうち25冊が延べ38回貸し出された。



展示の様子

(7) ブラインドブックフェア図書展示

この企画は、紙などで包んで中身を分からなくした図書に関心を持たせるコメントを付けて展示するもので、利用者に図書と偶然の出会いを提供するものである。昨年度のアンケートで好評だったため、引き続き本館と北図書館で実施した。

11月19日(月)～11月30日(金)に推薦図書とコメントを募集した。少なくとも6人の学生から推薦があった。

展示は12月10日(月)～12月27日(木)で、時節柄、図書館から読書体験をクリスマスプレゼントするイメージとした。



本館での展示の様子

本館に40冊、北図書館に39冊の推薦があったが、展示最終日にはほぼ全ての図書が貸し出された。アンケート入力フォームに飛べるQRコードを栞状の紙に印刷し挟み

込んでおいたところ、借りた学生から回答があり「久しぶりに読書に没頭した」「普段は勉強に関する本以外は読まないが、気まぐれで借りたら良い気分転換になった」「自分では借りない本だと思ったが、読みはじめたら一気に読みってしまった」など大変好評であった。

(8) 「全国読書マラソン・コメント大賞」連携図書展示



北図書館での展示の様子

北大生協も加盟する全国大学生活協同組合連合会では、大学生を対象に読書の感想を募る全国読書マラソン・コメント大賞を開催している。そこで、学生の夏季休暇の時期にこれと連携することで、学生が多様な図書に触れる機会を設け、読書習慣の普及へ貢献することを目的として7月18日(水)～9月28日(金)に本館と北図書館で図書展示を行った。

歴代(平成17年～平成29年)の受賞作のうち図書館に所蔵があるものを本館45冊、北図書館129冊展示した。本館では42冊が延べ154回貸し出され、北図書館では128冊が延べ564回貸し出された。同時に全国読書マラソン・コメント大賞の応募箱も設置したところ、6件の応募が寄せられた。

(9) 「論文の書き方コーナー」設置

9月28日(金)、本館2階オープンエリアに「論文の書き方コーナー」を設置した。文章作法からレポート・卒論、

学術論文の書き方、プレゼンテーションのしかたまでを内容別に配架している。

これまで各フロアに散在していた論文執筆関連の図書を一箇所に集めて利便性を向上させた。オープンエリアでは論文執筆や学会発表の準備をしている学生も多くいるが、必要な時に関連資料をすぐ手に取ることができるようになり、学生が研究・学習により多くの時間を割り当てられるようになった。

設置時点では和書 150 冊・洋書 50 冊が配架され、今後とも充実を図る。



「論文の書き方」コーナー

(10) ブックリサイクル

学生や教職員から私物の本を集め、リサイクル本として学生に無料で譲渡するもので、学生が新たな本に出会い、また本が新たな読者の元で活用される機会を提供することを目的としたものである。

2回目となる今回は、本館及び北図書館において4月9日（月）～27日（金）に実施され、2館合わせて359名に818冊を譲渡した。また、譲渡されずに残った図書約700冊は古本募金に回し、有効活用した。



北図書館での実施風景

B | 情報リテラシー教育

(1) 図書館情報入門

「図書館情報入門」は、初年次学生を対象に学術文献の効率的な検索方法の習得を目的に実施している。「一般教育演習（フレッシュマンセミナー）」及び「主題別科目（論文指導）」の授業内で希望する教員の1コマ（90分）を利用して41回実施し、計658名が受講した。実施後のアンケートでは、99%の学生が「満足」「どちらかといえば満足」と回答している。少人数クラスである利点を活かし、授業にあった検索例題の設定や教員の要望によるカスタマイズを行い、授業と関連した内容とすることで、より理解が深まることを目指している。

(2) 文献収集セミナー

1) これから研究を始める人のための文献の収集と管理のセミナー【文献収集セミナー 文系編】

これから本格的に論文を執筆する文系の学部学生3年次から修士1年次を主な対象に、網羅的かつ効率的な文献収集スキルの向上を目的に開催した。国内文献の検索・入手方法（基礎編）と海外文献の検索・入手方法（応用編）を春と秋合わせて8回実施し、計86名が参加した。

2) 基礎からおさえる！法情報の探し方

【文献収集セミナー 法学編】

法学研究科法学政治学資料センターと連携し、図書館と法学政治学資料センターで所蔵している法学関連の図書や雑誌の網羅的な探し方や法学情報収集の基礎を身につけることを目的として開催した。春と秋合わせて6回実施し、計72名が参加した。特に秋の回は留学生の参加が多く好評だった。

(3) 国際機関情報の探し方セミナー

国連寄託図書館・EU情報センターとして国際情報の入手方法についてわかりやすく解説し、グローバルな課題に対する情報収集スキルを高めることを目的として開催した。5月17日（木）に「EU編」、10月25日（木）「OECD編」、11月1日（木）「国連編」を開催し、計25名が参加した。

(4) 各種データベース講習会



Mendeley 講習会の様子

研究や学習、就職活動等に幅広く役立ててもらうことを目的として、本学が契約する学術文献データベース、文献管理ソフトの利用講習会を専門の外部インストラクターとの協働により開催した。「EBSCOhost」「Web of Science」「日経テレコン」「Mendeley」等に加え、「SciFinder」「Reaxys」「eol」等、分野に特化したデータベース等も含め、本館や北図書館会場の他、部局での実施も合わせて 47 回開催し、計 664 名が参加した。

(5) オーダーメイド講習会

教員からの依頼による「オーダーメイド講習会」は、個別の授業やゼミへの支援を目的とするオリジナル型の講習会で、教員と図書館職員とで内容を相談しながら実施している。文献管理ツールの使い方や重点をおくケースや部局図書室の案内や書庫ガイダンスを実施するケース等、単なる文献の収集方法に留まらない多様な形態で 31 回実施し、計 512 名が受講した。

C | グローバル人材育成

(1) 「第 3 回北海道大学フィンランドディ」関連資料展示&ブックトーク

本学欧州ヘルシンキオフィスが主催するイベント「第 3 回北海道大学フィンランドディ：みんなで夏至祭を楽しもう！」との連動企画として、6 月 11 日（月）～7 月 16 日（月）に関連資料展示を開催した。イベント講師陣等の協力により、フィンランドにまつわる資料 139



展示の様子



ブックトークの様子

点を紹介者のコメントと共に展示し、92 点が延べ 160 回貸し出された。図書展示を告知するため北図書館ロビーではフィンランドの四季折々の写真をスライドショーにして上映した。映像の BGM にはフィンランドの英雄叙事詩であるカレワラを使用し、不思議な音に多くの方が耳を傾けていた。

また、HUSTEP のプログラムでフィンランドから留学していた学生 2 名の協力を得て 6 月 26 日（火）、27 日（水）に初の試みとしてブックトークを開催した。フィンランドの教育・キャラクター・旅行・フィンランド語・フィンランド人の性格について本を紹介しながら話していただき、26 日は 17 名、27 日は 24 名が参加した。

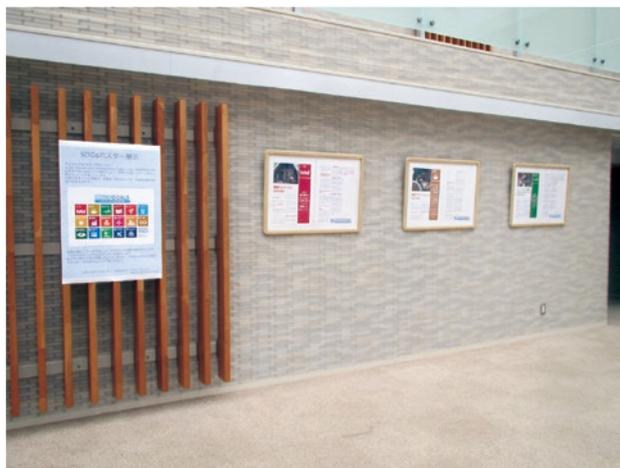
なお、本展示は EU 情報センターとしての活動の一環でもある。

(2) SDGs ポスター展示「なぜ大切か」

10 月 29 日（月）～11 月 7 日（水）に、国連が提唱・推進している SDGs (Sustainable Development Goals)

の周知のため、メディアコートでポスター展示を行った。

ポスターは国連広報センター作成の「なぜ大切か」シリーズを使用した。これは、SDGs の 17 の目標それぞれに対する様々な「なぜ？」という疑問に対する「回答」という形式で構成されているものである。また、アンケート用紙を設置し、回答してくれた方には国連広報センターから配布されたクリアファイルをプレゼントした。



展示の様子

(3) ～留学・旅行応援～グローバル図書展示



展示の様子

2月1日(金)～3月26日(火)、北図書館でグローバルな視点を得るために留学や旅行に行くことを応援する「～留学・旅行応援～グローバル図書展示」を行った。

TOEFL や IELTS など語学学習のための図書、英語で書かれた基礎的洋書、英語論文の書き方・英語プレゼンのしかたに関する図書、留学体験記、日本に関する図書を192冊展示し、104冊が延べ183回貸し出された。

D | 学生と協力した図書館づくり

(1) 学生団体「TEDxHokkaidoU」応援資料展示



TEDxHokkaidoU メンバー

学生団体「TEDxHokkaidoU」が主催するイベントと連動して、同団体と協働した展示を10月17日(水)～11月30日(金)に本館・北図書館で開催した。TED やプレゼンテーションスキル、グローバル 이슈に関する資料を、学生のおすすめコメントと共に展示した。

(2) 「世界を変える! ビジネスアイデアコンテスト」協働展示



展示の様子

12月26日(水)～2月22日(金)に「世界を変える! ビジネスアイデアコンテスト」と連携した図書展示を北図書館で開催した。このコンテストは北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会と EARTH on EDGE 北海道が主催したもので、EARTH on EDGE 北海道に参加する学生からの依頼で協働展示を行うことになった。

経営・起業・アントレプレナー教育、ビジネス、技術シーズに関連する図書を22冊展示した。

(3) 「けんちくアラカルト」協働展示



けんちくアラカルトメンバー



模型展示の様子

5月18日（金）～7月13日（金）に、工学部建築都市コースの学生で構成される「けんちくアラカルト」と連携した展示を行った。この団体は6月2日（土）に工学祭の中でITS（高度道路交通システム）を通した札幌の未来の姿を考えるイベントを主催しており、このイベントに関連して近代名作住宅、都市計画・まちづくり、ITS・自動化運転技術に関連する図書を35冊展示し、30冊が延べ84回貸し出された。また、学生が作成した建築模型も併せて展示した。

(4) 留学生向け図書館ガイダンス（北図書館・ESS）

11月12日（月）、現代プログラム予備課程生を対象として図書館ガイダンスを英語で実施した。案内役とし

て、本学公認サークル「北海道大学英語研究会（ESS）」所属の学生3名の協力を得た。学生と外国人留学生との交流を図り、案内役の学生からは「留学生と話す機会が少ないので楽しめた」との声が寄せられた。

E | 学内ワークスタディ

ワークスタディとして学生36名（本館13名（うち大学院生1名）、北図書館23名、いずれも実人数）を雇用した。

定期試験期間等、利用者が増加し混雑する時期を中心に配架作業など定常業務の一部を担当させた。これにより、職員が利用者対応等の業務を重点的に行うことができ、図書館の円滑な運営に寄与した。

そのほか、長期休業期間中には短期間に集中して学生を雇用し、マイクロフィルムやマイクロフィッシュなど特殊な資料の蔵書点検を進めることができた。

F | 障がいのある学生への支援

「プリント・ディスアビリティのある利用者のための資料電子化サービス」が、本格実施へと移行して3年目となった。登録利用者の学部学生1名、大学院生1名から依頼のあった図書の電子化31件を実施した。



電子化データ作成の様子

この他、アクセシビリティ支援室と連携し、障がいのある学生を支援する活動をしている学生や教職員、外部の専門業者等の幅広い参加者による修学支援懇話会を1回開催し、継続して支援策について検討を行った。

また、「キャンパス・アクセシビリティ入門」（アクセシビリティ支援室の支援学生の研修を兼ねた授業）において電子化の法的な知識についての講義と実習を担当し、同時に「カラーユニバーサルデザイン」についても講義を行った。

今後も他大学・他機関と情報交換をして問題解決を図り、よりよいサービスの提供を目指す。

2 研究支援

A 研究者向け講習会実施

英語論文の書き方セミナー（基礎編）

主に学生を対象とした英語論文執筆の基礎を学ぶセミナーを2月15日（金）北図書館にて開催した。英語論文の構成から各項目の書き方、日本人英語の欠点や改善策（脱日本の発想）等について、90分×3コマの講義を英語論文の添削や学術論文指導等の経験豊富な講師が日本語で分かりやすく解説した。これから英語論文を執筆する大学院生を中心に文系・理系を問わず51名が参加した。



ポスターと英語論文の書き方セミナー（基礎編）の様子

B 学術研究コンテンツ整備

(1) 平成 31 年度学術研究コンテンツの整備

電子ジャーナル及びデータベースの毎年の原価値上げや為替の影響等により、学術研究コンテンツ整備にかかる経費の増大に歯止めがかからない状況であるが、本学の経営方針の下、平成 29 年度分選定より特定経費（全学で使用する電子ジャーナル及びデータベースのために配分されている経費）の上限が設定されている。

平成 31 年度特定経費による学術研究コンテンツの選定では、費用対効果が良好でない等の中止基準に該当するコンテンツについて、電子ジャーナル個別契約 7 タイトル並びにパッケージ契約 2 点の購入を中止した。また、特定経費の上限が設定された平成 29 年度以降の選定で購入を中止したタイトルのうち、費用対効果が良好である等の購入基準を満たしたコンテンツについて、電子ジャーナル個別契約 26 タイトル並びにパッケージ契約 2 点を新規に購入した。

(2) バックファイルの整備

電子ジャーナルのバックファイルを導入することにより、研究者は、現在の研究成果だけではなく過去の研究成果にもアクセスすることが可能となる。教育研究活動の活性化が期待できることから、本学では、電子ジャーナルのバックファイル整備計画に基づき整備を進めている。

特定経費による選定では、IOP（英国物理学会）のバックファイル 2 タイトル、Wiley 社のバックファイル 1 タイトルを買取方式で導入した（使用可能年は各タイトルによる）。また、平成 29 年度に導入した Wiley 社 UBCM モデル（一定額を前払いすることにより、同社のバックファイル全タイトルが 1 年間利用可能となり、1 年経過後には前払い額相当のバックファイルタイトルが買取可能となるモデル）を継続して導入した。

(3) オープンアクセス論文の投稿支援

通常、電子ジャーナル論文をオープンアクセスによって出版する場合には、出版社に対する一定の費用の支払いが発生する。

本学では、本学構成員が利用できるオープンアクセス

論文投稿料割引制度の情報提供に取り組んでおり、平成 30 年度は出版社の割引プログラムに 1 件参加し、トータルで 4 社の情報提供を行った。

C | 学術成果刊行助成

本学では、学術的価値が高くかつ独創的な著作物の刊行を促進し、学術研究成果の社会への還元及び学術の国際交流の推進に資することを目的として、平成 20 年 5 月に「学術成果刊行助成」を創設した。助成の対象は図書及び文系欧文誌の刊行である。

図書については 3 件の申請があり、そのうち 2 件を採択した。

- ・日本語聞き手待遇表現の社会語用論的研究／呉 泰均
- ・ソール・アリンスキーとコミュニティの挑戦—20 世紀アメリカにおける組織化運動の政治的文脈
／石神 圭子

また、欧文誌については、文系 8 部局を対象に募集を行い、以下の 3 誌を採択した。

- ・“Eurasia Border Review”（スラブ・ユーラシア研究センター）
- ・“Journal of Applied Ethics and Philosophy”（文学研究科）
- ・“Journal of the Graduate School of Letters”（文学研究科）

前年度採択分の図書である、肖蘭氏の『現代中国の就労・自立支援教育』、井上敬介氏の『戦前期北海道政党史研究』を北海道大学出版会から刊行した。

平成 30 年度までに図書を 17 冊、欧文誌を 4 誌刊行している。刊行した著作は本館の教員著作物コーナー及び北図書館で利用可能である。また、欧文誌については HUSCAP に掲載し国内外へ発信している。

D | 北海道大学学術成果コレクション (HUSCAP)

(1) 収録文献数 60,000 件到達

年間 3,000 件の登録を目標として、本学構成員に対する「北海道大学学術成果コレクション (HUSCAP)」への文献寄贈依頼と登録作業を行ってきたが、3 月 22 日（金）に収録文献総数が 60,000 件に到達した。

(2) システム面の強化

HUSCAP の公開基盤は、図書館情報システムで調達したサーバ機器類を使用していたが、図書館情報システムの更新に伴い、オンプレミス型の環境から、本学のクラウドシステムのサーバを使用する形に変更した。CPU の向上やメモリの増加によって、これまでよりもより高速にページ表示が行える環境となった。

E | 遡及入力事業

遡及入力事業は、図書業務の電算化（昭和 61 年）以前に受入した資料について、遡って蔵書目録データベース化する事業であり、昭和 62 年に第 1 期を開始した。

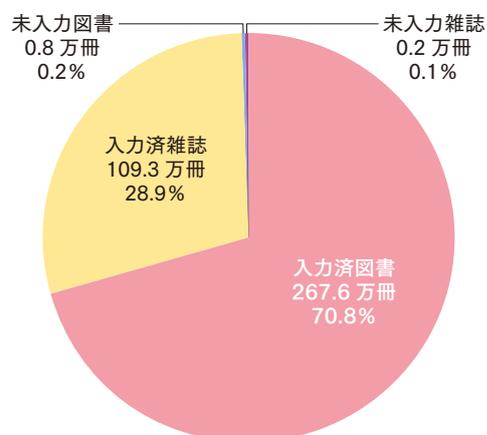
平成 30 年度（第 7 期第 3 年度）の入力・作業冊数は、以下のとおりである。

- (1) 資産受入済みであるが蔵書目録データベースに未入力であった図書・製本雑誌 4,628 冊
 - (2) 蔵書目録データベースへの入力希望図書 2,222 冊
 - (3) 書誌・所蔵データの品質向上 2,414 冊
- 合計 9,264 冊である。

実施した主な部局は、本館、文学研究科、経済学研究院、農学研究院、スラブ・ユーラシア研究センターとなっている。

全蔵書約 378 万冊のうち 99.7%が入力済となり、残りは 0.3%の約 1 万冊である。令和元年度は引き続き第 7 期第 4 年度となる。

蔵書 378 万冊の入力状況



F | 研究支援のための職員向け研修会

第 1 回図書館職員・教職員向け勉強会

By Michael Schiltz 先生

2月27日(水)にメディア・コミュニケーション研究院のミヒャエル・シルツ先生による教職員向けの勉強会を開催した。シルツ先生は現代日本学プログラム担当教員で経済史・金融史の研究者であると同時に、デジタルヒューマニティーズの分野でも活躍され、オープンソースの文献管理ソフトである Zotero の開発に携わった。この勉強会は職員の研究・教育支援のためのスキルアップを目的とし、第1回目は「Zotero・Figshare等のオープンソースの文献管理ツール」をテーマとした。

14名の図書館職員が参加し、「研究者の立場でそれぞれツールのどのように捉えているのか何え大変参考になった」「職員がこのような情報を得る機会は少ないので大変貴重な会だった」という声が聞かれた。今後も継続して勉強会を開催し、学生に対するイベントに発展させる予定である。

3 社会貢献と国際化

A 北方資料公開

(1) 北方資料企画展示

資料コレクション部会による企画により、研究開発室
室員谷本晃久教授（文学研究科）の協力で、本館玄関ロ
ビーにおいて展示を行った。

『なが〜い絵図展 新道出来形絵図編』

本館玄関ロビー

平成 30 年 11 月 12 日（月）～平成 31 年 1 月 18 日（金）

来場者：361 名（アンケートシール貼付式）

明治初期に函館から札幌を結ぶため開削された「札幌
本道（新道）」を取り上げた。

渡島・亀田村から噴火湾（内浦湾）をめぐり、札幌豊
平橋に至る「札幌本道」は、明治 5 年年初に着工し、翌
年夏には竣工、一年半ほどで完成した。その距離約
四十五里余り（約 177 キロメートル）である。

開拓使が札幌本道（新道）を描いた約 128 メートル（職
員試算）の「新道出来形絵図」を中心に、沿道の地域を
紹介しながら、函館—札幌間を辿る展示を行った。

図書館の所蔵する「新道出来形絵図」とともに、明治
期の札幌本道沿道の絵図や地図、写真などを紹介するこ
とを狙いとして企画した。



展示の様子

(2) 北方資料掲載申請

全国からの依頼によるテレビ放映や図書等への写真掲
載等の許可件数は 253 件あり、資料点数としては 1,201
点であった。内訳は以下の通り。

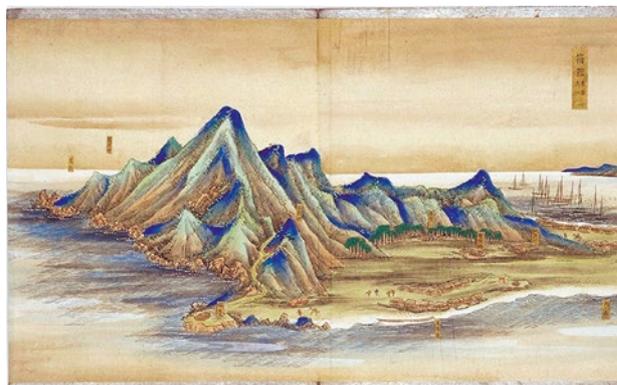
- ・放映許可件数： 61 件 資料数：297 点
- ・掲載許可件数：192 件 資料数：904 点

利用の多かった資料は以下の通り。

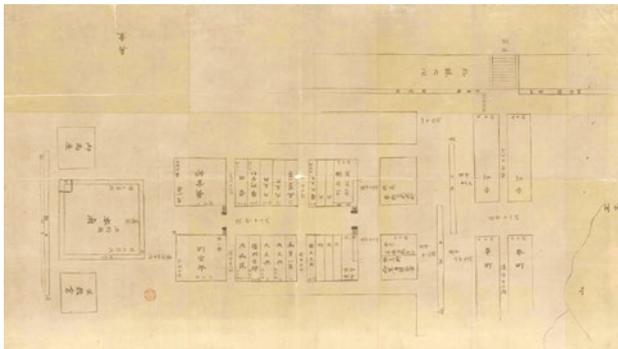
資料名	請求記号	許可件数
1 開拓使顧問ケプロンその他の御雇アメリカ人たち	軸物 38	12
1 北海道歴検図	図類 492	12
2 石狩国本府指図	軸物 116・ 図類 1509	11
2 永山武四郎肖像	S (b) 86・ 道史 5 - 12 等	11



開拓使顧問ケプロンその他の御雇アメリカ人たち（明治 4 年）



北海道歴検図 渡島州東岸（上）箱館 東面其 2（明治 4 年）



[石狩国本府指図] (明治 2 - 3 年頃)

単独でもっとも申請が多かった資料は「開拓使顧問ケプロンその他の御雇アメリカ人たち」だった。明治期の北海道開発に大きな影響を及ぼしたケプロンについては、この写真のほか単独の肖像写真や明治政府への提言・報告を記した「ケプロン報文」にも利用があった。

「北海道歴検図」は幕吏目賀田帯刀が安政 5 年に北海道と樺太の各地を描いた 28 冊の折本からなる資料で、各地の特徴を美しく描いており、道内の博物館等での展示や書籍などに利用された。

明治最初期の開拓判官島義勇の銅像が出身地佐賀市に建立されたこともあり、佐賀から島義勇に関する資料への申請が多くあった。札幌の都市計画の原点ともいえる「石狩国本府指図」「石狩大府図」の 2 点は二つを合わせると 13 件ともっとも利用された。

北海道庁長官で屯田兵制度の創設にたずさわった永山武四郎はその住居や付設する旧三菱鉱業寮がリニューアルし注目を集めたこともあり、例年より多く肖像が利用された。

また、佐賀県や北海道などの博物館等で開催される展示等のために、松浦武四郎の自筆本や、開拓使の作成した地図など所蔵資料の貸付を 8 館へ行った。

(3) 『ヤエンコロアイヌ文書』の重要文化財指定

文部科学省文化審議会は、3 月 18 日 (月) 開催の同審議会文化財分科会において、図書館所蔵の「ヤエンコロアイヌ文書」を「カラフトナヨロ惣乙名文書 (ヤエンコロアイヌ文書)」の名称で国の重要文化財に指定することについて文部科学大臣に答申した。

図書館としては、北海道指定有形文化財の「新琴似村屯田兵村記録」に続き、二つ目の文化財指定となる。

この文書は、カラフト西岸ナヨロの惣乙名 (複数村落の統括者) をつとめたアイヌの氏族長の家に保管、伝来した文書群である。清朝関係文書 4 通と日本側作成文書 9 通の計 13 通で構成され、現在は 2 巻に軸装されている。

清朝関係文書は 18 世紀後半から 19 世紀前半にかけての満文 2 通 (1 通は官印が押捺された公文書) と漢文 2 通で、清朝への進貢に関する内容をもつ。

日本側作成文書は、江戸時代後期 (18 世紀末から 19 世紀中葉) のもので、最上徳内らカラフト探査にたずさわった人物による前記満文文書他を披見した旨の書付、並びに箱館奉行所等発給の惣乙名職等の任免に関する文書の 2 種に大別される。

18 世紀から 19 世紀にかけてのカラフトアイヌと中国、日本との関わりを伝える極めて稀有な文書群であり、当該期のいわゆる北方世界の歴史研究上、学術的価値が高いと評価された。

図書館では北方資料データベースで全文書を公開している。



外観



官印が押捺された満文文書

B | 国際連携強化

(1) 国連寄託図書館、EU 情報センター

図書館は、日本で 3 番目の国連寄託図書館であり、日本で 8 番目の EU 情報センター (EUi) である。

1) EU フレンドシップウィーク

毎年、駐日欧州連合代表部広報部と国内の EU 情報センターが、ヨーロッパデー (5 月 9 日) 前後に連携して行う「日・EU フレンドシップウィーク」のイベントに参加している。今年は、5 月 9 日 (水) ~ 6 月 8 日 (金) に、玄関ロビーで「EU を知ろう! ブルガリアとオーストリア ~ 2018 年の EU 議長国」と題して議長国の役割と両国を紹介するポスターを展示し、オープンエリアで両国に関するものを含め EU 関連図書の展示を行った。



玄関ロビーのポスター展示の様子



オープンエリアの図書展示の様子

2) 国連広報センターとの協力

初の試みとして、3 月 15 日 (金) に東京の国連広報センターで実施された「国連資料ガイダンス」を Skype 中継した。

(2) MIT 石井教授を北大に迎えて ~ 北海道 150 年事業関連企画ワークショップ: 「デジタルアーカイブが紡ぐ未来: MIT 石井裕教授と考える未来記憶」及び関連図書展示

8 月 6 日 (月)、学術交流会館第一会議室において、本学卒業生であり、マサチューセッツ工科大学 (MIT) メディアラボ副所長である石井裕教授をお招きし、標記ワークショップを開催した。本ワークショップは、8 月 6 日 (月) ~ 7 日 (火) の 2 日間、「北海道 150 年事業関連企画 ~ MIT 石井裕教授を北大に迎えて」と題し本学で行われた 3 つのイベントの 1 つである。

ワークショップでは、最初に石井教授の講演があり、次に情報基盤センター・重田勝介准教授、総合博物館・山下俊介助教から、附属図書館、総合博物館、大学文書館でのデジタルアーカイブに関する取り組みについて紹介があった。その後、講演者 3 名によるパネルディスカッション及び質疑応答が行われた。

当日は学内外から 200 名以上の参加があり、終了後のアンケートでは、特に石井教授の講演について「極めて刺激的だった」「新しい視点が得られた」「今後の自分の生き方を深く考えることができた」等の意見が寄せられた。

またワークショップの広報を兼ね、本館において関連図書等の展示を実施した。



質問に答える石井教授

C | 展示会・公開イベント

(1) 柴田元幸トークライブ～アメリカ文学 200 年の魅力～

1) トークライブ



トークライブの様子

9月14日（金）、本館大会議室を会場として、アメリカ文学研究家、翻訳家として著名な柴田元幸東京大学名誉教授によるイベントを開催した。この企画では、北海道ブックフェス実行委員会と共催し、河出書房新社の協力のもと、トークライブのほか、柴田氏の著作物の販売や購入者向けのサイン会も行った。

本学の学生、教職員のほか、一般市民も含め74名が参加した。

トークライブでは、アメリカ文学の魅力について、J. D. Salinger の「the Catcher in the Rye」と Mark Twain の「Adventures of Huckleberry Finn」との比較やアメリカ文学における「私」の在り方という観点から、米国文学史上著名な作品を例に解説していただいた。

アンケートには「アメリカの自己、文学、社会の関係を分かりやすく整理してもらえた」「英米文学の水面下の精神性の様なものがわかりやすく説明されていてよかった」「思いがけずリアル翻訳教室体験ができてとても感動しました」といったコメントが寄せられた。

2) 柴田元幸先生トークイベント関連図書展示

このイベントに合わせ、8月28日（火）から9月25日（火）に、本館、北図書館、水産学部図書室で、柴田氏の著作や翻訳書等の展示を行った。

本館・北図書館では、柴田氏による翻訳やエッセイな

どの著作を多数展示した。また、本学出身で柴田氏のもとでも学んだ藤井光氏の翻訳もあわせて展示した。

水産学部図書室では、柴田氏の翻訳・著作を中心に、英米文学の翻訳書の展示を行った。また、本館・北図書館で展示している図書の情報を提供し、札幌キャンパスから図書を取り寄せできることをPRした。



展示の様子（本館）



展示の様子（北図書館）



展示の様子（水産学部図書室）

(2) 学位論文から本になった本の展示

本館では、出版・書籍化に関するイベントを11月にURAと、12月に北大出版会と共催した。それに先立ちイベントの広報を兼ねながら、実際に「学位論文から本になった本」を手にとれるようにすることで、本学の学生を含む来館者に学術出版や学位論文の書籍化に興味を持ってもらうことを目的として、11月19日(月)～12月19日(水)に本館で図書展示を行った。



展示の様子

当世書籍刊行事情
学術書籍刊行にまつわるエッセイ

日 時 平成30年11月29日(木) 17:00-18:30

会 場 人文・社会科学総合研究棟
メインストリート北口 総合情報館4F W102

対 象 若手からシニア研究者まで

講 義 者 韓載香 経済学研究推進教授/辻智子 教養学
研究推進教授/上田敦 研究推進部研究開発企画
課主任/菊池満史 附属図書館管理課課長補佐/
竹中英俊 北海道大学出版会相談役・元東京大学
出版会編集局長

事前申込 不要 入場 無料

主催：北海道大学 URAステーション / 附属図書館 後援：北海道大学出版会
協賛：印刷局のそと(株)

学術出版のすゝめ
高橋沙奈美『ソヴィエト・ロシアの聖なる景観』
受賞記念トークイベント

日 時 2018年12月18日(火) 17:00-19:00

場 所 北海道大学附属図書館 大会講室(4階)
札幌市北区北15条西7丁目

演 者 高橋沙奈美 氏
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター助教
竹中英俊 氏
北海道大学出版会相談役・元東京大学出版会編集局長

著者および編集者が
学術出版の具体的な経験を
語ります

事前申込 不要 入場 無料

共 催 北海道大学附属図書館 北海道大学 URAステーション
【問い合わせ先】北海道大学出版会(担当：北野)
〒060-0809 北海道札幌市東区南7丁目 北大書内
TEL: 011-747-2308 E-mail: fupub@h.u-tokyo.ac.jp

イベントのポスター



展示の様子

(3) 「新潮クレスト・ブックス 20周年記念～2018年最後に読む海外文学～」図書展示

新潮社が刊行する「新潮クレスト・ブックス」が、2018年に20周年を迎えたこともあり、通常では配架場所が分かれている新潮クレスト・ブックスを一箇所に集め、学生や一般市民が良質な海外文学に接する機会を増やすことを目的として11月19日(月)～12月7日(金)に本館で図書展示を行った。3週間に満たない短い展示期間であったが展示した40冊のうち33冊が延べ44回貸し出された。

(4) 講演会「情報発信の新たな展開に向けて—デジタルアーカイブの構築とIIIF」

1月22日(火)に、ハワイ大学マノア校よりバゼル山本登紀子氏、人文情報学研究所より永崎研宣氏を招聘し、「情報発信の新たな展開に向けて—デジタルアーカイブの構築とIIIF」と題して講演会を開催した。テーマは、デジタルアーカイブの海外での活用事例とデジタル画像を公開するための国際的な規格IIIF(トリプルアイエフ)についてである。

バゼル氏には、ハワイ大学マノア校で所蔵する貴重なコレクションがどのように収集・保存され、活用されているかをご紹介いただいた。ウェブでの画像公開に当たり、コンテンツを構築する際に工夫したことや注意点、今後の展開について興味深いお話を聞くことができた。

永崎氏には、IIIFに関する基本的な情報からご紹介いただき、海外での動向や国内の導入事例、課題など、国内研究の最先端から具体的にお話しいただき大変参考になった。

参加者には、学内の図書館職員、研究者だけでなく、学外の文書館等の職員や道外在住の研究者等もいた。意見交換も活発に行われ、北海道だけでなく、日本国内において歴史的資料等の長期的な保存・活用が重要な課題であることが改めて認識できた。



講演会の様子

4 その他

A 外部資金獲得

(1) 古本募金

図書館では、自己収入獲得を目的として平成 28 年から「古本募金」事業に取り組んでいる。本館・北図書館に設置した回収ステーションに古本を入れてもらう他、部局図書館・室や研究室等での回収も行っている。

古本は業者が買い取り図書館の雑収入となる。用途は図書館での教育支援・研究支援とし、マイクロフィルムリーダーの更新に使用した。

なお、ブックポスト型の回収ステーションは、本学サステナブルキャンパス推進本部による提案募集型事業「サステナブルキャンパスをつくる！」に採用され購入したものである。

(2) 外部資金申請

「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）データベース部門」及び「笹川科学研究助成（公益財団法人日本科学協会）実践研究部門」に申請を行い、採択された。

いずれも「創基 150 年に向けた附属図書館のチャレンジ」の一環であり、北方資料データベースの機能向上、国際化の進展を図った。

図書館外の資金として「総長リーダーシップ経費—海外大学との交流事業」及び「スーパーグローバル大学創成支援事業」に申請し、採択された。

「総長リーダーシップ経費」では、研究者・図書館員・博物館員等向け講演会を開催した（詳細は 16 ページ (4) 参照）。

「スーパーグローバル大学創成支援事業」では、学習用基本的洋書の整備及び英語論文の書き方セミナーを実施した（詳細は 9 ページ A 参照）。

B 研究開発室活動報告

平成 30 年度の活動は次のとおり。

本学のオープンキャンパスに合わせて 8 月 6 日（月）に MIT メディアラボより石井裕教授にお越しいただき、「デジタルアーカイブが紡ぐ未来：MIT 石井教授と考える未来記憶」と題しワークショップを開催した。重田勝介室員にはコーディネーターとして登壇いただき、本学

でのデジタルアーカイブに関する取り組みや課題について紹介いただいた（詳細は 14 ページ (2) 参照）。

資料コレクション部会において、谷本晃久室員のアドバイスにより、企画展示「なが〜い絵図展：新道出来形絵図編」を行った（展示の詳細は 12 ページ (1) 参照）。

また、部会委員のスキルアップのための学習会では、研究者の視点から図書館所蔵資料の理解を深めるような情報や選書に関する助言をいただき、日々の業務に役立てている。

1 月 22 日（火）には、ハワイ大学マノア校よりバゼル山本登紀子氏、人文情報学研究所より永崎研宣氏を招聘し、デジタルアーカイブに関する講演会を開催（詳細は 16 ページ (4) 参照）、重田室員に参加いただいた。

北方資料データベース機能拡充のための外部資金申請（科研費等）に当たり、行木孝夫室員及び重田室員には研究代表者、分担者をそれぞれご担当いただいた。

C 「平成 30 年北海道胆振東部地震」の対応記録



メディアコートでのミーティング (9/7)

(1) 被害

9 月 6 日（木）未明に発生した胆振東部地震は、震源地付近に大きな被害をもたらしただけでなく、札幌市内でも一部地域で液状化現象を引き起こし、道路や家屋に大きな被害があった。

震度 5 強を記録した札幌キャンパスでは、北図書館の床や壁に亀裂が入った他、獣医学部図書室で書庫の壁留めされていないキャビネットが倒れる、工学部図書室では壁留めしていた書架が一部外れるといった被害があっ



落下した図書（北キャンパス図書室）

た。

本館開架閲覧室、北図書館、北キャンパス図書室、獣医学部図書室等で書架からの本の落下が起こったが、特にキャンパスの北側にある図書室での落下数が多かった。

震度4を記録した函館キャンパス水産学部図書室では、積層書庫の床にひびが入るなどの被害があった。

地震発生が開館時間外だったため、館内での利用者への被害がなかったことは幸いであった。

(2) 影響

1) 臨時休館

停電のため、ほとんどの図書館・室が6日（木）は休館となった。

本館・北図書館が開館したのは、10日（月）の13時で、部局図書室も多くは10日（月）に開館した。一部部局では7日（金）に停電が復旧したため、制限付きながら開館したところもある。

函館市は7日（金）に停電が復旧したため、水産学部図書室では書庫内の立ち入り制限の上、開館した。

2) インターンシップ・図書館実習の中止

3日（月）から11日（火）まで予定していたインターンシップ・図書館実習は5日（水）をもって中止となった。また、12日（水）に予定されていた市立高校生に

よる職場体験学習も中止となった。

(3) 課題と対応

1) 非常時対応要領

職員が出勤すべきかどうかの判断に迷ったり、部局図書室は部局事務と図書館のどちらの指示に従うべきかわからなかった等の反省があった。今回の経験をふまえ、地震発生時の対応マニュアルを作成した。

2) 緊急時の連絡

固定電話や携帯電話がつながりづらく、職員の安否確認や出勤要否の連絡がスムーズにできなかったこともあったので、緊急時連絡網を各課で整備した。

なお、メッセージアプリ（Slack等）を業務に利用している部局では、安否確認や出勤要否の連絡に使用できたため、電話が通じないときの職員への連絡手段としてある程度有効であることがわかった。また、学内サーバーが停電等で使用できない場合の休館等の情報発信はFacebook等外部サービスも有効であり、今後も必要に応じ活用することとした。

令和元年度重点項目

重点項目 1

ラーニングサポート室等の関係部局と連携し、学生の自主的な学習やグローバル化を支援するイベントの開催

(1) 自主的な学習の支援

1) ラーニングサポート室との連携

ラーニングサポート室と連携し、学部学生向けの効果的な学習・研究法を身につけるためのセミナーを引き続き開催する。学生のニーズを反映させた内容やテーマを検討し「スタディ・スキルセミナー」「これから論文を書く人のための文献収集セミナー」等を実施し、自ら学び、課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

2) 法学研究科との連携

法学政治学資料センターと協力し、文献収集セミナー（法学編）を開催する。法情報の基礎的な探し方を法学政治学資料センターと図書館のスタッフが相互補完しながらレクチャーする講習会を実施する。

3) URA ステーション、学内研究支援組織との連携

平成 30 年度に URA ステーション主導で発足した「博士人材に対するアカデミックキャリア形成支援担当者プラットフォーム」会合を通じ、URA ステーション、人材育成本部等の研究支援担当者間の情報共有や体系的な支援等について検討を行う。英語論文執筆セミナー等の開催に関しては、類似企画を検討している部署との連携を図る。

4) 授業との連携

授業やゼミ等において、文献収集や管理方法等、希望に応じた内容でカスタマイズが可能なオーダーメイド講習会を活用してもらうよう案内を行う。また、専門分野に特化した文献収集法等の依頼については、部局図書室と協力し、実施体制の強化を図る。

5) 快適な学習空間の提供

アクティブラーニングフロアやサイレントルーム等の多彩な学習環境の充実と、学生の成果発表や学生主体イベント等への館内スペースの利用促進により、学生の主

体的な学習を支援する。

(2) グローバル人材育成支援

グローバルな課題をより深く知るために役立つ、国際機関情報の探し方セミナーを開催する。また、グローバル社会で活躍するために必要なスキルを身につける新渡戸カレッジ応援イベント「めざせ 100 万語！英語多読マラソン」を引き続き実施する。

重点項目 2

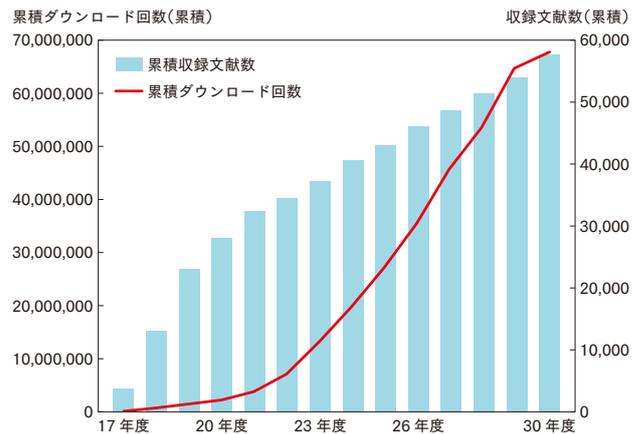
HUSCAP を通じて教育研究成果の社会への発信

引き続き HUSCAP を通じて本学の教育研究成果の社会への発信を行う。特に、HUSCAP の研究データ対応の準備を始める。

(1) 登録公開状況

新規登録公開は、4,526 件、累積収録文献数は 60,215 件、最近 5 年間の平均収録文献数は 3,436 件、累積ダウンロード数は、67,689,559 件である。

累積収録文献数及び累積ダウンロード数



(2) 令和元年度年度計画数値目標と実施計画

1) 年間 3,000 件のコンテンツ増加

現在学内研究者の学術論文を Web of Science を用いて捕捉し、HUSCAP への登録を促している。年間 3,000 件のコンテンツを増加させるため、引き続き収録コンテンツの多様化について検討する。

2) JPCOAR スキーマ対応による収録文献メタデータの 利便性向上と研究データ対応への準備

HUSCAP に収録した文献のメタデータは、国立情報学研究所が運営している学術機関リポジトリデータベース（IRDB）へ提供を行っており、IRDB を通じて CiNii Article や国立国会図書館などの各種データベース・機関等で利用されている。IRDB は平成 31 年 4 月に新 IRDB へのリニューアルを予定しており、新 IRDB では機関リポジトリからのデータを、現行の「junii2 スキーマ」よりも国際化・詳細化した新しいメタデータスキーマ「JPCOAR スキーマ」を使用してデータ収集を行うこととなっている。「JPCOAR スキーマ」は、文献のメタデータだけではなく、研究データのメタデータへも対応しており、HUSCAP についても、「JPCOAR スキーマ」でのメタデータ提供に対応することで、HUSCAP 収録文献のメタデータの利便性の向上を図り、将来の研究データの収録に備える。

連携事業 平成30年度

No.	時期	内容	連携・連携先	学内外	備考
1	4/6	国際連携機構 HUSTEP 留学生向け図書館オリエンテーション (北図書館)	国際連携機構	学内	Facebook 4/9
2	4/6	国際連携機構日本語・日本文化研修 (JLCS) プログラム学生向け図書館オリエンテーション (北図書館)	国際連携機構	学内	Facebook 4/9
3	4/6 - 6/7	北大生協書籍部・北図書館合同新入生応援企画「ようこそ北大へ! ~新生活を彩る、役に立つ、やる気が出る! おすすめ本~」展示 (北図書館)	北海道大学生生活協同組合書籍部	学外	Facebook 4/6
4	4/10	放送大学生向け図書館オリエンテーション (北図書館)	放送大学校友会	学外	
5	4/16 - 4/20、4/23 - 4/25	スタディ・スキルセミナー (春) 全 16 回	ラーニングサポート室	学内	Facebook 4/16
6	4/19、4/24、4/26	文献収集セミナー法学編 (春) 全 3 回	法学政治学資料センター	学内	
7	4/23、4/26	「めざせ 100 万語! 英語多読マラソン」スタートアップガイダンス (春季) 全 2 回 (北図書館)	高等教育推進機構 畑中貴美特任講師	学内	Facebook 4/13
8	5/10	CoSTEP プログラム生向け図書館利用ガイダンス (北図書館)	高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門	学内	Facebook 5/14
9	5/18	MLA International Bibliography、EBSCOhost 利用講習会	EBSCO	学外	Facebook 5/10
10	5/18 - 5/31	けんちくアラカルト協働展示 (北図書館)	けんちくアラカルト	学内	Facebook 5/18
11	5/22 - 5/23	Reaxys 講習会 (春) 全 4 回	化学情報協会	学外	Facebook 5/21
12	5/30	若手研究者向け移転可能研究力強化セミナー ~米国領事に学ぶ異文化コミュニケーション	人材育成本部、新渡戸カレッジ、新渡戸スクール	学内	Facebook 5/10
13	6/4 - 6/5、6/7 - 6/8	Mendeley 講習会 全 5 回	エルゼビア・ジャパン	学外	Facebook 5/22
14	6/5 - 6/7	SciFinder 講習会 全 6 回	エルゼビア・ジャパン	学外	Facebook 5/21、6/4
15	6/11 - 7/16	第 3 回北海道大学フィンランドディ関連図書展示 (北図書館)	北海道大学欧州ヘルシンキオフィス	学内	Facebook 6/11 北大時報 773 号
16	6/13	eol 講習会	プロネクサス	学外	
17	6/26 - 6/27	第 3 回北海道大学フィンランドディ関連ブックトーク (北図書館)	北海道大学欧州ヘルシンキオフィス	学内	Facebook 6/25 北大時報 773 号
18	7/17 - 11/20	全国読書マラソン・コメント大賞連携図書展示 (本館・北図書館)	全国大学生生活協同組合連合会、北大生協	学外	Facebook 7/19、8/6
19	7/17 - 8/27	【物理・数学・統計学・化学】入門図書展示 (北図書館)	高等教育推進機構ラーニングサポート部門	学内	Facebook 7/19
20	8/27	国際連携機構日露共同教育 (RJE3) プログラム学生向けオリエンテーション (北図書館)	国際連携機構	学内	Facebook 8/30
21	9/4	DynaMed 講習会、看護の研究のための文献検索ワークショップ	病院臨床研修センター、EBSCO	学内、学外	
22	9/11 - 9/14	高校物理補講 全 4 回	ラーニングサポート室	学内	
23	9/14	柴田元幸トークライブ ~アメリカ文学 200 年の魅力~	北海道ブックフェス、河出書房新社	学外	Facebook 8/28、9/21 北大時報 775 号 文教速報 (10/15)、 文教ニュース
24	9/19、9/21	高大連携高校生向け図書館オリエンテーション (北図書館)	高等教育推進機構	学内	Facebook 9/20
25	9/25	国際連携機構日本語・日本文化研修 (JLCS) プログラム学生向け図書館オリエンテーション (北図書館)	国際連携機構	学内	
26	9/26	国際連携機構 HUSTEP 留学生向け図書館オリエンテーション (北図書館)	国際連携機構	学内	
27	10/1 - 10/5、10/9 - 10/12	スタディスキルセミナー (秋) 全 18 回	ラーニングサポート室	学内	
28	10/3	eol 講習会	プロネクサス	学外	
29	10/9	放送大学生向け図書館オリエンテーション (北図書館)	放送大学校友会	学外	
30	10/12、10/18、11/21	文献収集セミナー法学編 (秋) 全 3 回	法学政治学資料センター	学内	
31	10/17 - 10/19	SciFinder 講習会 全 6 回	化学情報協会	学外	
32	10/17 - 11/30	学生団体「TEDxHokkaidoU」応援資料展示	TEDxHokkaidoU	学内	Facebook 10/23
33	10/23 - 10/24	Mendeley 講習会 全 5 回	エルゼビア・ジャパン	学外	
34	10/24 - 10/26	Reaxys 講習会 全 6 回	エルゼビア・ジャパン	学外	
35	10/25	国際機関情報の探し方セミナー: OECD 編 全 2 回	OECD 東京センター	学外	
36	10/27-11/9	ホッと一息 本と一息 函館市内の 8 図書館、函館高屋書店合同展示企画 (水産学部図書室)	キャンパスコンソーシアム函館	学外	Facebook 10/25
37	11/1	国際機関情報の探し方セミナー: 国連編	法学研究科附属高等法政研究教育センター	学内	
38	11/8	企業・業界情報調べ方セミナー (日経テレコン) 全 2 回	日経メディアマーケティング	学外	
39	11/12	現代日本学プログラム予備課程生向け図書館オリエンテーション (北図書館)	北海道大学 ESS	学内	Facebook 11/13
40	11/20	NII Research Data Cloud 説明会	国立情報学研究所	学外	
41	11/26 - 11/28	研究者のためのライティング・リトリート with ワンポイント英文相談 (創成科学研究棟)	URA ステーション	学内	Facebook 10/17
42	11/26 - 11/30	高校物理補講 第 2 回 全 5 回	ラーニングサポート室	学内	
43	11/28	Writing for Journal Submission—Manuscript and Cover Letter Preparation—(フロンティア応用科学研究棟)	人材育成本部/URA ステーション	学内	Facebook 10/21
44	11/29	書籍刊行セミナー 「当世書籍刊行事情 書籍刊行にまつわるエトセトラ」	URA ステーション、北海道大学出版会	学内、学外	
45	12/3	How to search academic information (Library seminar for engineering students)	English Engineering Education Program	学内	
46	12/10	これから論文を書く学生さんのための「Web of Science+EndNote basic」講習会	クラリベイト・アナリティクス	学外	
47	12/11	論文執筆セミナー 「世界トップレベルの論文執筆に必要な研究メソッド」	クラリベイト・アナリティクス	学外	Facebook 12/4
48	12/18	学術出版のすゝめ 高橋沙奈美 「ソヴェト・ロシアの聖なる空間」受賞記念トークイベント	北海道大学出版会、URA ステーション	学内	Facebook 11/15、 11/25、12/13
49	12/26-2/22	「世界を変える! ビジネスアイデアコンテスト」協働展示 (北図書館)	北大リサーチ & ビジネスパーク推進協議会、EARTH on EDGE 北海道	学外	Facebook 12/27
50	1/16	院生・若手研究者のための英語論文執筆 & 英語プレゼンセミナー (理学部、医学部)	カクタス・コミュニケーションズ	学外	Facebook 12/17
51	2/15	英語論文の書き方セミナー (基礎編) (北図書館)	丸善雄松堂	学外	
52	2/22	国立大学図書館協会北海道地区協会助成事業 「災害に負けない図書館ワークショップ」(北図書館)	国立大学図書館協会	学外	文教速報、文教ニュース 2540・2541 合併号
53	3/5-3/8	研究者のためのライティング・リトリート with ワンポイント英文相談 & ミニセミナー	URA ステーション	学内	Facebook 2/3
54	3/14	ググっただけじゃわからない! 国連資料ガイダンス	国連広報センター	学外	

ガイダンス・講習会

平成 30 年度

No.	時期	内容
1	4/6	国際連携機構 HUSTEP 留学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
2	4/6	国際連携機構日本語・日本文化研修（JLCS）プログラム学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
3	4/6	オーダーメイド講習会（経済学研究院：松村史穂准教授）
4	4/9 - 4/13、4/16 - 4/17	新入生向け図書館利用ガイダンス（北図書館）全 21 回
5	4/10	放送大学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
6	4/10 - 4/12	新入生向け図書館利用ガイダンス（本館）全 9 回
7	4/16	オーダーメイド講習会（文学研究科：佐藤健太郎准教授）
8	4/16	オーダーメイド講習会（文学研究科：瀬名波栄潤教授）
9	4/16 - 4/20、4/23 - 4/25	スタディ・スキルセミナー（春）全 16 回
10	4/17	オーダーメイド講習会（法学研究科：児矢野マリ教授）
11	4/17	図書館情報入門（経済学研究院：宇田忠司准教授）
12	4/17	図書館情報入門（経済学研究院：松村史穂准教授）
13	4/17	図書館情報入門（農学研究院：高橋昌志教授）
14	4/19	図書館情報入門（工学研究院：大井俊彦准教授）
15	4/19	図書館情報入門（情報科学研究科：小柳香奈子准教授）
16	4/19	図書館情報入門（保健科学研究科：佐藤洋子教授）
17	4/19、4/24、4/26	文献収集セミナー法学編（春）全 3 回
18	4/20	オーダーメイド講習会（公共政策学連携研究部：武藤俊雄講師）
19	4/20	図書館情報入門（経済学研究院：満園勇准教授）
20	4/20	文献検索ガイダンス（水産学部）
21	4/23	オーダーメイド講習会（法学研究科：加藤智章教授）
22	4/25	オーダーメイド講習会（経済学研究院：高井哲彦准教授）
23	4/25	オーダーメイド講習会（文学研究科：結城雅樹教授）
24	4/25	オーダーメイド講習会（法学研究科：山崎幹根教授）
25	4/25	図書館情報入門（工学研究院：村井祐一教授）
26	4/25	図書館情報入門（工学研究院：郷原一壽教授）
27	4/26	図書館情報入門（情報科学研究科：土橋宜典准教授）
28	4/26	図書館情報入門（文学研究科：加藤重広教授）
29	4/26	図書館情報入門（スラブ・ユーラシア研究センター：長縄宣博教授）
30	4/26	図書館情報入門（歯学研究院：東野史裕准教授）
31	4/26	図書館情報入門（高等教育推進機構：鈴木誠教授）
32	4/27	図書館情報入門（理学研究院：鈴木孝紀教授）
33	4/27	図書館情報入門（医学研究院：平野聡教授）
34	4/27	図書館情報入門（農学研究院：川村周三特任教授）
35	4/23、4/26	「めざせ 100 万語！英語多読マラソン」スタートアップガイダンス（春季）全 2 回（北図書館）
36	5/1	図書館情報入門（文学研究科：佐々木亨教授）
37	5/1	図書館情報入門（公共政策学連携研究部：榎本芳人教授）
38	5/1	図書館情報入門（情報科学研究科：大鐘武雄教授）
39	5/2	オーダーメイド講習会（文学研究科：佐々木亨教授）
40	5/9	図書館情報入門（農学研究院：合崎英男准教授）
41	5/10	CoSTEP プログラム生向け図書館利用ガイダンス（北図書館）
42	5/10	図書館情報入門（法学研究科：桑原朝子教授）
43	5/11	オーダーメイド講習会（文学研究科：立澤史郎助教）
44	5/11、5/18	オーダーメイド講習会（医学研究院：玉腰暁子教授）全 2 回
45	5/15	図書館情報入門（農学研究院：荒川圭太准教授）
46	5/15	文献検索ガイダンス（水産学部）
47	5/16	オーダーメイド講習会（教育学研究院：駒川智子准教授）
48	5/16	図書館情報入門（高等教育推進機構：三上直之准教授）
49	5/17	図書館情報入門（触媒科学研究所：大谷文章教授）
50	5/17	国際機関情報の探し方セミナー：EU 編
51	5/18	図書館情報入門（薬学研究院：室本竜太講師）
52	5/18	MLA International Bibliography 講習会
53	5/18	EBSCOhost 講習会
54	5/22 - 5/23	Reaxys 講習会（春）全 4 回
55	5/23	図書館情報入門（教育学研究院：駒川智子准教授）
56	5/23	図書館情報入門（低温科学研究所：笠原康裕准教授）
57	5/24	図書館情報入門（医学研究院：村上学助教）
58	5/24、6/22	文献収集セミナー文系編（春）全 4 回
59	5/28	図書館利用ガイダンス（メディア・コミュニケーション研究院：レジー・カパシオ・フィガー特任准教授）（北図書館）
60	5/30	図書館情報入門（歯学研究院：高橋茂准教授）
61	6/4 - 6/5、6/7 - 6/8、6/13、6/15	Mendeley 講習会（春）全 7 回
62	6/5 - 6/7	SciFinder 講習会（春）全 6 回
63	6/7	図書館情報入門（低温科学研究所：杉山慎教授）

No.	時期	内容
64	6/13	eol 講習会
65	6/15	図書館情報入門（地球環境科学研究所：久保川厚教授）
66	6/21	オーダーメイド講習会（保健科学研究所：宮島直子准教授）
67	7/4	オーダーメイド講習会（歯学部教務委員会）全 2 回
68	7/10	図書館情報入門（農学研究所：松浦英幸教授）
69	7/11	図書館情報入門（農学研究所：清水池義治講師）
70	7/19	図書館 30 分セミナー～これから始める論文入手編～
71	8/5	オープンキャンパス館内ツアー（北図書館）
72	8/27	国際連携機構日露共同教育（RJE3）プログラム学生向けオリエンテーション（北図書館）
73	9/4	DynaMed 講習会
74	9/4	看護の研究のための文献検索ワークショップ
75	9/11 - 9/14	高校物理補講 全 4 回
76	9/19、9/21	高大連携高校生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
77	9/25	国際連携機構日本語・日本文化研修（JLCS）プログラム学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
78	9/26	国際連携機構 HUSTEP 留学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
79	10/1 - 10/5、10/9 - 10/12	スタディ・スキルセミナー（秋）全 18 回
80	10/3	eol 講習会
81	10/4	図書館情報入門（工学研究所：小澤丈夫教授）
82	10/9	放送大学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
83	10/10	図書館情報入門（農学研究所：園山慶教授）
84	10/9、10/11	秋入学の人向け図書館オリエンテーション（本館）4 回
85	10/10、10/12	秋入学の人向け図書館オリエンテーション（北図書館）
86	10/11	オーダーメイド講習会（農学研究所：田上貴祥助教）
87	10/11、10/18	オーダーメイド講習会（保健科学研究所：山本徹教授）全 2 回
88	10/11	図書館情報入門（法学研究科：中川寛子教授）
89	10/12、10/18、11/21	文献収集セミナー法学編（秋）全 3 回
90	10/15	オーダーメイド講習会（教育学研究所：大谷和大助教）
91	10/17 - 10/19	SciFinder 講習会（秋）全 6 回
92	10/18	図書館情報入門（経済学研究所：韓載香准教授）
93	10/18	図書館情報入門（経済学研究所：阿部智和准教授）
94	10/18	図書館情報入門（高等教育推進機構：三上直之准教授）
95	10/18	図書館情報入門（保健科学研究所：佐川正特任教授）
96	10/19、11/15	図書館 30 分セミナー～これから始める論文入手編～
97	10/19、11/15	文献収集セミナー文系編（秋）全 4 回
98	10/23 - 10/24	Mendeley 講習会（秋）全 5 回
99	10/24 - 10/26	Reaxys 講習会（秋）全 6 回
100	10/25	国際機関情報の探し方セミナー：OECD 編 全 2 回
101	10/25、10/29 - 10/31	午後の講座：オープンアクセスとハゲタカジャーナル（北キャンパス）全 4 回
102	10/26	ミニセミナー「ハゲタカジャーナルにご用心」（医学部保健学科）全 2 回
103	10/31	オーダーメイド講習会（教育学研究所：駒川智子准教授）
104	11/1	国際機関情報の探し方セミナー：国連編
105	11/1、11/6、11/13	留学生向け講習会（北キャンパスグループ）全 3 回
106	11/2	オーダーメイド講習会（薬学研究所：薬物動態解析学・臨床薬理学研究室）
107	11/8	日経テレコン講習会 全 2 回
108	11/12	現代日本学プログラム予備課程学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
109	11/19	現代日本学プログラム予備課程学生向け図書館オリエンテーション（本館）
110	11/26 - 11/28	研究者のためのライティング・リトリート with ワンポイント英文相談（創成科学研究棟）
111	11/26 - 11/30	高校物理補講第 2 回 全 5 回
112	11/28	オーダーメイド講習会（教育学研究所：近藤健一郎准教授）
113	11/28	Writing for Journal Submission - Manuscript and Cover Letter Preparation - （フロンティア応用科学研究棟）
114	11/29	図書館情報入門（医学研究所：大滝純司教授）
115	12/3	オーダーメイド講習会（工学研究所：ナタリア・シュマコワ教員、岡崎太郎教授）
116	12/3	How to search academic information (Library seminar for engineering students)
117	12/6	オーダーメイド講習会（工学研究所：葛隆生准教授）
118	12/10	これから論文を書く学生さんのための「Web of Science + EndNote basic」講習会
119	12/11	論文執筆セミナー「世界トップレベルの論文執筆に必要な研究メソッド」
120	12/12、12/26	オーダーメイド講習会（歯学研究所：山崎裕教授）全 2 回
121	1/16	オーダーメイド講習会（農学研究所：実山豊講師）
122	1/16	院生・若手研究者のための英語論文執筆＆英語プレゼンセミナー（理学部、医学部）
123	2/15	英語論文の書き方セミナー（基礎編）
124	3/5-3/8	研究者のためのライティング・リトリートwithワンポイント英文相談＆ミニセミナー
125	3/14	ググっただけじゃわからない！ 国連資料ガイダンス

活動日誌

平成 30 年度

4月	4/6 - 6/7	北大生協書籍部・北図書館合同新入生応援企画「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本～」展示（北図書館）
	4/9 - 5/8	選書ツアー展示
	4/9 - 4/27	ブックリサイクル図書展示
	4/20	第 50 回国立大学図書館協会北海道地区協会総会
5月	5/9 - 6/8	日・EU フレンドシップウィーク展示（EU 議長国ポスター展示 玄関ロビー）
	5/9 - 6/8	日・EU フレンドシップウィーク図書展示
	5/11	第 61 回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（第 31 回）（研究支援課）（本館）
	5/14	国立大学図書館協会春季理事会（平成 29 年度）（館長、事務部長、管理課長）（東京大学）
	5/17	北海道地区大学図書館協議会北海道地区大学図書館相互利用サービス事務担当者会議（利用支援課）
	5/18 - 5/31	けんちくアラカルト協働展示（北図書館）
	5/28 - 5/29	特定非営利活動法人日本医学図書館協会第 89 回通常総会・分科会（研究支援課）（東京）
	5/30	若手研究者向け移転可能研究力強化セミナー～米国領事に学ぶ異文化コミュニケーション
6月	6/1	第 17 回電子リソースデータ共有作業部会（管理課）（NII）
	6/4 - 6/5	第 6 回クラリベイト学術シンポジウム（研究支援課）（北キャンパス）（東京）
	6/5	北海道武蔵女子短期大学（1 年生）来館
	6/7	第 1 回図書選定小委員会（メール審議）
	6/7	北海道武蔵女子短期大学（2 年生）来館
	6/11 - 7/15	第 3 回北海道大学フィンランドディ関連図書展示（北図書館）
	6/13	オープンアクセスリポジトリ推進協会第 1 回研究データタスクフォース（研究支援課）（NII）
	6/14 - 6/15	第 65 回国立大学図書館協会総会（当番校）
	6/18 - 6/19	Japan Open Summit (JOSS2018)（研究支援課）（NII）
	6/22	高麗大学来館
	6/22	大学図書館における読書バリアフリー推進方策に関する勉強会（管理課長）（NII）
	6/26 - 6/27	第 3 回北海道大学フィンランドディ関連ブックトーク（北図書館）
	6/27	第 1 回学術研究コンテンツ小委員会
7月	7/11	厚真町立厚南中学校来館
	7/12 - 7/13	第 39 回 EUi セミナー（利用支援課）（関西学院大学）
	7/17 - 11/20	全国読書マラソン・コメント大賞連携図書展示（本館・北図書館）
	7/17 - 8/27	【物理・数学・統計学・化学】入門図書展示（北図書館）
	7/19	第 2 回図書選定小委員会
	7/23 - 8/6	「デジタルアーカイブが紡ぐ未来」関連図書展示
	7/24 - 7/25	第 18 回電子リソースデータ共有作業部会（管理課）（NII）
	7/30	第 237 回図書館委員会（平成 30 年度第 1 回）
8月	8/5	オープンキャンパス自由参加プログラム（自由見学）（本館）、（館内ツアー）（北図書館）
	8/6	MIT 石井教授を北大に迎えて～北海道 150 年事業関連企画 ワークショップ：「デジタルアーカイブが紡ぐ未来：MIT 石井裕教授と考える未来記憶」
	8/22	第 1 回国際学術情報流通基盤整備事業運営委員会（管理課長）（NII）
	8/23	オンライン講座「研究データ管理サービスの設計と実践」試用プロジェクト説明会（研究支援課）（学術総合センター）
	8/28	北京師範大学来館
	8/28 - 9/30	柴田元幸先生トークイベント関連図書展示（本館、北図書館、水産学部図書室）
9月	9/6	北海道胆振東部地震発生
	9/6 - 9/10 午前	地震、停電による臨時休館
	9/14	柴田元幸トークライブ～アメリカ文学200年の魅力～
	9/12 - 9/14	学術情報システム総合ワークショップ（管理課）（NII）

	9/20	国立大学図書館協会学術情報システム委員会「学術情報システムの今後の方向性に関する研究事業」コアミーティング(管理課)(京都大学)	
	9/25	パソコン等使用禁止エリア試行開始(北図書館)	
	9/27	札幌光星中学校来館	
	9/28	「論文の書き方コーナー」設置	
	9/28	第1回図書担当係長連絡会議	
10月	10/1 - 11/16	図書展示「読書の秋」学問の秋！北大の先生の著作を読みましょう」	
	10/5	札幌市立栄南中学校来館	
	10/9	第5回オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会(研究支援課長)(NII)	
	10/11	国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会(利用支援課課長補佐)(東京)	
	10/12	放送大学来館	
	10/15	第1回学術成果刊行助成審査委員会	
	10/15	第22回これからの学術情報システム構築検討委員会(管理課長)(NII)	
	10/17 - 11/30	学生団体「TEDxHokkaidoU」応援資料展示	
	10/18	Hokkaido Study Abroad Program 受入れ高校生来館	
	10/19	北図書館消防訓練	
	10/22	本館防災訓練	
	10/24	札幌市立啓明中学校来館	
	10/27 - 11/9	ホッと一息 本と一息 函館市内の8図書館、函館葛屋書店合同展示企画(水産学部図書室)	
	10/29 - 11/7	国連イベント SDGs ポスター展示「なぜ大切か」	
	10/31 - 11/1	第20回図書館総合展(研究支援課(工、水産))	
	11月	11/1	広尾町立広尾小学校来館
		11/6	第2回学術研究コンテンツ小委員会
11/8		大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) OA2020 Transformation Workshop(管理課)(NII)	
11/10		北海高等学校来館	
11/12		第92次国立大学七大学附属図書館協議会、国立大学図書館協会秋季理事会(平成30年度)(館長、事務部長、管理課長)(京都大学)	
11/12 - 1/18		北方資料企画展示「なが〜い絵図展—新道出来形絵図編」	
11/16		第3回図書選定小委員会(メール審議)	
11/19 - 12/7		「新潮クレスト・ブックス20周年記念〜2018年最後に読む海外文学〜」展示	
11/19 - 12/19		「学位論文から本になった本の展示」	
11/20		NII Research Data Cloud 説明会(管理課、研究支援課)	
11/20		大学ICT推進協議会(AXIES)2018年度年次大会(管理課、研究支援課(水産))(札幌)	
11/21 - 1/31		「本は脳を育てる」特別展示(北図書館)	
11/28		第1回オープンアクセスリポジトリ推進協会「JAIRO Cloud メタデータ自動入力機能検証プロジェクト」ミーティング(管理課)(NII)	
11/29		書籍刊行セミナー「当世書籍刊行事情 書籍刊行にまつわるエトセトラ」(文系総合研究棟)	
11/30		国立大学図書館協会中国四国地区協会助成事業ワークショップ「大学図書館のアクセシビリティを考える」講師(利用支援課)(広島大学)	
12月		12/6	西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」(仮称)に係る打合せ(研究支援課)(一橋大学)
		12/7	第1回研修出張報告会
	12/10	岩見沢市立図書館来館	
	12/10 - 12/27	ブラインドブックフェア展示(本館・北図書館)	
	12/13	第2回学術成果刊行助成審査委員会	
	12/13	第2回国際学術情報流通基盤整備事業運営委員会(管理課長)(NII)	
	12/14	第19回電子リソースデータ共有作業部会(管理課)(NII)	
	12/18	学術出版のすゝめ 高橋沙奈美「ソヴィエト・ロシアの聖なる空間」受賞記念トークイベント	

	12/26 - 2/22	「世界を変える！ビジネスアイデアコンテスト」協働資料展示（北図書館）
1月	1/18	特定非営利活動法人日本医学図書館協会北海道地区総会（研究支援課長）（旭川医科大学）
	1/22	第238回図書館委員会（平成30年度第2回）
	1/23	「情報発信の新たな展開に向けて—デジタルアーカイブの構築とIIIF—」講演会
	1/25	第23回これからの学術情報システム構築検討委員会（事務部長）（NII）
	1/28	第2回オープンアクセスリポジトリ推進協会「JAIRO Cloud メタデータ自動入力機能検証プロジェクト」ミーティング（管理課）（NII）
	1/30	JPCOAR 第6回運営委員会（研究支援課長）（NII）
	2月	2/8
2/1-3/27		「留学・旅行応援 グローバル図書展示」(北図書館)
2/8		第4回図書選定小委員会(メール審議)
2/18		国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会(利用支援課課長補佐)(東京)
2/19		札幌インターナショナルスクール来館
2/22		国立大学図書館協会北海道地区協会助成事業「災害に負けない図書館ワークショップ」(北図書館)
2/27		第1回図書館職員・教職員向け勉強会 By Michael Schiltz 先生
3月		3/1 -
	3/7	第3回学術研究コンテンツ小委員会
	3/11	第2回研修出張報告会
	3/13	第5回図書選定小委員会(メール審議)
	3/13	オープンアクセスリポジトリ推進協会総会(研究支援課長)(一橋講堂)
	3/18	文部科学省文化審議会が、附属図書館所蔵「カラフトナヨロ惣乙名文書(ヤエンコロアイヌ文書)」を重要文化財に指定することを文部科学大臣に答申
	3/18	ブックポスト常時開放試行開始
	3/25	東棟サイレントルーム常設(北図書館)
	3/27-5/19	「ようこそ北大へ！新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本」展示(北図書館)
	3/29	第1回点検評価小委員会、第239回図書館委員会(平成30年度第3回)

学外講師派遣等 平成30年度

時期	報告者	内容	発表先・媒体	連携・連携先
6月	磯本善男	「印刷体コレクションとメタデータ」(執筆)	「これからの学術情報システムに向けて—現状・課題・当面の方向性に関するレポート—」	国立大学図書館協会学術情報システム委員会
11/20	芝翔太郎	「研究データ管理に関するeラーニング教材への反応と、研究支援者向けの新教材の開発について」(発表)	AXIES(大学ICT推進協議会)年次大会	大学ICT推進協議会
11/30	栗田とも子	「特別修学支援室と連携して行う、障害のある学生へのサービス」(発表)	平成30年度国立大学図書館協会中国四国地区協会助成事業ワークショップ 「大学図書館のアクセシビリティを考える」	国立大学図書館協会中国四国地区協会 広島県大学図書館協議会
2/5	小林泰名	「読書障害のある学生への情報保障：図書館にできること」(講師)	平成30年度CCHライブラリーリンク研修会	キャンパスコンソーシアム図書館 ライブラリーリンク

職員研修 平成 30 年度

No	研修名	開催期間	開催場所	参加者所属	参加者氏名
1	特定非営利活動法人日本医学図書館協会第 89 回通常総会・分科会	H30. 5.28 ~ H30. 5.29	日本教育会館	研究支援課 (医)	菊地隆憲
2	講演会「アクティブラーニングの正しい理解」	H30.5.30	情報教育館	利用支援課	金子敏、三隅健一、坂本ゆう子
3	第 6 回クラリベイト学術シンポジウム	H30. 6. 5	FUKURACIA 丸の内 オアゾ	研究支援課 (北キャン)	千葉浩之
4	講演会「メンタルヘルスケアから健全な職場を作る」	H30.6.22	情報教育館	研究支援課	結城憲司
5	大学図書館職員長期研修	H30. 7. 2 ~ H30. 7.13	筑波大学春日エリア情報 メディアユニオン	利用支援課	三隅健一
6	第 39 回 EUi セミナー	H30. 7.12 ~ H30. 7.13	関西学院大学西宮上ヶ 原キャンパス	利用支援課	杉山あかね
7	北海道地区私立大学図書館協議会第 1 回業務 研究会	H30. 7.13	札幌大学	管理課、研究支援課 (文)	茶屋容子、清谷あさみ
8	第 61 回北海道地区大学図書館職員研究集会	H30. 8. 9	東海大学札幌校舎	管理課、利用支援課、研 究支援課、研究支援課 (歯)	清重周太郎、平館真希子、栗田とも子、三上 純子、田原瞳子、高石しのぶ、村山美月、河 野由香里
9	講演会「発達障害のある学生の理解と対応」	H30.8.10	情報教育館	管理課、利用支援課	得能由紀、中條将喜、長井伸一
10	第 1 回北海道大学事務職員海外短期集中研修	H30. 8.20 ~ H30. 8.31	ニューサウス・ウェー ルズ大学 (オーストラ リア・シドニー市)	管理課	安藤優記
11	第 3 回 JMLA コア研修	H30. 8.23 ~ H30. 8.24	東邦大学習志野メデ ィアセンター	研究支援課 (歯)	河野由香里
12	北海道地区国立大学法人等中堅職員研修	H30. 8.29 ~ H30. 8.31	学術交流会館	管理課、利用支援課、研 究支援課 (工)	綾田陽子、栗田とも子、近藤絵理子
13	診療ガイドライン文献検索ワークショップ	H30. 8.30 ~ H30. 8.31	聖路加国際大学 2 号館	研究支援課 (歯)	河野由香里
14	北海道大学事務職員ビジネスライティング (E メール) 研修	H30. 9. 4、 H30. 9. 5	クラーク会館	利用支援課	眞野光章 (9/4)、梶谷晶子 (9/5)
15	個人情報保護研修会	H30. 9.12	事務局大会議室	管理課、研究支援課	佐々木由香、本間静一郎、堀越邦恵
16	学術情報システム総合ワークショップ	H30. 9.12 ~ H30. 9.14	国立情報学研究所	管理課	磯本善男
17	第 60 回北海道図書館大会	H30. 9.13 ~ H30. 9.14 (地震による 影響のため中 止)	札幌市教育文化会館	利用支援課、研究支援課	杉山あかね、三隅健一、川村路代
18	図書館等職員著作権実務講習会	H30. 9.13 ~ H30. 9.14	東京大学	研究支援課 (工)	近藤絵理子
19	Excel を用いたテキストデータ取扱講座	H30. 9.14	情報基盤センター	管理課、研究支援課	得能由貴、村山美月
20	北海道地区国立大学法人事務情報化講習会 (Access 研修・初級編)	H30. 9.27 ~ H30. 9.28	情報基盤センター	利用支援課	田原瞳子
21	北海道大学事務職員英会話スクール利用研修	H30.10. 1 ~ H31. 1.31	Gaba マンツーマン英 会話 JR タワーさっ ぽろラーニングスタ ジオ	利用支援課	栗田とも子
22	LGBT 研修会	H30.10.15	情報教育館	研究支援課	綾田陽子
23	アドバイラストレータ研修	H30.10.15 ~ H30.10.16	情報基盤センター	管理課、研究支援課 (医)	佐々木翼、紙谷五月
24	大学図書館職員短期研修	H30.10.16~ H30.10.19	国立情報学研究所	利用支援課、研究支援課 (農)	栗田とも子、前田翔太、山崎佳子
25	第 20 回図書館総合展	H30.10.30~ H30.11. 1	パシフィコ横浜	研究支援課(工)(水)	本多竜二、根本萌
26	北海道大学事務職員英会話スキルアップ研修	H30.11. 6~ H30.12.11	ファカルティハウス 「エンレイソウ」	研究支援課(理)	佐藤亜紀
27	北海道地区国立大学法人等係長研修	H30.11. 7~ H30.11. 9	北海道教育大学札幌駅 前サテライト	研究支援課(獣)	東朋子
28	北海道大学事務職員 TOEIC スコアアップ研修	H30.11. 7~ H30.12.12	ファカルティハウス 「エンレイソウ」	利用支援課	奥田由佳
29	北海道地区大学図書館職員スキルアップセ ミナー	H30.11.22	附属図書館	利用支援課、研究支援課 (歯)(工)	平館真希子、高橋遼平、田原瞳子、阿部由季奈、 坂本ゆう子、三上純子、河野由香里、本多竜二
30	プレスリリース講座	H30.12.12	学術交流会館	研究支援課(低)	綾田陽子
31	発達障害のある学生への対応～生活上や精神 上の困りに寄り添って～	H31. 1.22	情報教育館	管理課、利用支援課	中條将喜、栗田とも子、福田亜希
32	北海道大学事務職員ビジネスメール(効率化) セミナー	H31. 1.31	学術交流会館	管理課、利用支援課、研 究支援課(理)(工)	茶屋容子、森本あかね、見目亜紀子、本多竜二、 中道敦子
33	大学におけるカルト対策	H31. 2.23	情報教育館	研究支援課	高石しのぶ
34	第 22 回常民文化研究講座 古文書修復実習	H31. 3.10~ H31. 3.11	神奈川大学日本常民文 化研究所	利用支援課	梶谷晶子

統計

■ 基盤統計

平成 30 年度雑誌所蔵・受入種類統計（対象期間：H30.4.1～H31.3.31）

区分	所蔵種類数 (平成 31 年 3 月 31 日現在)			受入冊数 (平成 30 年度)								
	和	洋	計	購入			寄贈			合計		
				和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館（本館）	20,628	13,166	33,794	164	27	191	459	40	499	623	67	690
附属図書館（北図書館）	929	601	1,530	137	5	142	12	1	13	149	6	155
文学研究科・文学部	3,367	1,754	5,121	269	225	494	528	9	537	797	234	1,031
法学研究科・法学部	665	315	980	127	188	315	308	28	336	435	216	651
経済学院・経済学部	1,042	254	1,296	181	46	227	351	26	377	532	72	604
医学研究院・医学院・医学部	3,260	2,499	5,759	189	41	230	195	8	203	384	49	433
歯学研究院・歯学院・歯学部	608	539	1,147	59	26	85	137	18	155	196	44	240
工学研究院	2,609	2,816	5,425	117	26	143	130	13	143	247	39	286
獣医学研究院	561	874	1,435	21	22	43	33	17	50	54	39	93
情報科学研究科	402	463	865	73	7	80	81	0	81	154	7	161
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	3,219	2,225	5,444	77	26	103	214	36	250	291	62	353
地球環境科学研究院	266	329	595	28	3	31	17	4	21	45	7	52
理学研究院・理学院・理学部	762	3,478	4,240	51	106	157	37	143	180	88	249	337
薬学研究院・薬学部	162	131	293	12	0	12	29	0	29	41	0	41
農学研究院	5,238	3,502	8,740	186	58	244	277	78	355	463	136	599
先端生命科学研究院	12	13	25	6	1	7	0	0	0	6	1	7
教育学院・教育学研究院	763	187	950	114	17	131	115	2	117	229	19	248
メディア・コミュニケーション研究院	169	174	343	67	31	98	8	0	8	75	31	106
保健科学研究院	812	135	947	48	5	53	51	3	54	99	8	107
公共政策大学院	2	0	2	3	0	3	0	0	0	3	0	3
低温科学研究所	820	932	1,752	27	9	36	57	20	77	84	29	113
電子科学研究所	18	6	24	13	1	14	0	0	0	13	1	14
遺伝子病制御研究所	5	21	26	2	0	2	1	0	1	3	0	3
触媒科学研究所	83	379	462	11	0	11	6	2	8	17	2	19
スラブ・ユーラシア研究センター	187	1,628	1,815	16	172	188	41	37	78	57	209	266
情報基盤センター	50	6	56	3	0	3	0	0	0	3	0	3
国際連携機構	2	1	3	12	2	14	2	0	2	14	2	16
高等教育推進機構	88	71	159	12	8	20	3	2	5	15	10	25
総合博物館	825	418	1,243	1	0	1	8	1	9	9	1	10
北方生物圏フィールド科学センター	12	65	77	23	5	28	1	0	1	24	5	29
大学文書館	245	6	251	69	3	72	39	2	41	108	5	113
アイヌ・先住民研究センター	112	11	123	2	1	3	0	0	0	2	1	3
創成研究機構	5	0	5	4	0	4	2	0	2	6	0	6
計	47,928	36,999	84,927	2,124	1,061	3,185	3,142	490	3,632	5,266	1,551	6,817

平成30年度蔵書・受入統計（対象期間：H30.4.1～H31.3.31）

区分	所蔵冊数 (平成31年3月31日現在)			受入冊数(平成30年度)											
				購入			寄贈			製本			総計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館（本館）	997,475	829,964	1,827,439	3,880	471	4,351	3,936	384	4,320	245	35	280	8,061	890	8,951
附属図書館（北図書館）	258,152	114,843	372,995	4,399	593	4,992	575	61	636	19	7	26	4,993	661	5,654
文学研究科・文学部	158,324	113,943	272,267	1,061	655	1,716	1,715	478	2,193	222	227	449	2,998	1,360	4,358
法学研究科・法学部	7,791	1,709	9,500	191	124	315	239	207	446	433	383	816	863	714	1,577
経済学院・経済学部	9,407	3,688	13,095	195	37	232	141	79	220	0	0	0	336	116	452
医学研究院・医学院・医学部	52,971	94,291	147,262	248	42	290	77	4	81	69	18	87	394	64	458
歯学研究院・歯学院・歯学部	22,593	16,263	38,856	86	5	91	41	1	42	57	20	77	184	26	210
工学研究院	103,758	101,724	205,482	946	104	1,050	59	7	66	446	43	489	1,451	154	1,605
獣医学研究院	10,169	25,267	35,436	33	37	70	4	14	18	6	14	20	43	65	108
情報科学研究科	13,664	17,294	30,958	115	1	116	0	0	0	0	0	0	115	1	116
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	74,809	54,695	129,504	629	35	664	54	158	212	62	55	117	745	248	993
地球環境科学研究院	10,123	8,940	19,063	91	52	143	10	2	12	7	0	7	108	54	162
理学研究院・理学院・理学部	44,224	172,671	216,895	185	95	280	1,384	771	2,155	17	23	40	1,586	889	2,475
薬学研究院・薬学部	7,570	3,622	11,192	93	2	95	14	1	15	13	0	13	120	3	123
農学研究院	127,217	97,536	224,753	534	99	633	577	81	658	49	237	286	1,160	417	1,577
先端生命科学研究院	348	259	607	5	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	5
教育学院・教育学研究院	17,207	4,209	21,416	255	122	377	130	23	153	106	0	106	491	145	636
メディア・コミュニケーション研究院	4,094	6,449	10,543	27	20	47	44	2	46	0	0	0	71	22	93
保健科学研究院	30,126	4,068	34,194	240	15	255	78	9	87	89	7	96	407	31	438
公共政策大学院	1	0	1	60	30	90	13	58	71	0	0	0	73	88	161
低温科学研究所	9,895	23,658	33,553	0	1	1	31	35	66	41	0	41	72	36	108
電子科学研究所	567	502	1,069	0	0	0	29	42	71	0	0	0	29	42	71
遺伝子病制御研究所	85	45	130			0			0			0	0	0	0
触媒科学研究所	4,753	16,767	21,520	0	6	6	5	1	6	0	0	0	5	7	12
スラブ・ユーラシア研究センター	2,353	66,074	68,427	59	1,020	1,079	99	1,277	1,376	43	543	586	201	2,840	3,041
情報基盤センター	88	1	89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際連携機構	1	0	1	5	1	6	0	0	0	0	0	0	5	1	6
高等教育推進機構	3,431	746	4,177	0	0	0	11	0	11	0	0	0	11	0	11
総合博物館	10,173	3,569	13,742	0	0	0	222	6	228	0	0	0	222	6	228
北方生物圏フィールド科学センター	6,107	1,790	7,897	3	1	4	1	5	6	0	0	0	4	6	10
大学文書館	3,141	64	3,205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務局	0	0	0	49	25	74	0	0	0	0	0	0	49	25	74
アイヌ・先住民研究センター	3,999	554	4,553	117	37	154	79	12	91	0	0	0	196	49	245
情報法政策学研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
創成研究機構	19	3	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,994,635	1,785,208	3,779,843	13,506	3,630	17,136	9,568	3,718	13,286	1,924	1,612	3,536	24,998	8,960	33,958

※「所蔵冊数」は、当該部局に配架されている図書等の冊数。

※「受入冊数」は、当該部局予算による購入・製本、及び当該部局において寄贈受入した図書等の冊数で、別部局に配架した図書等を含む。なお、移動（部局をまたぐ所在変更）に伴う増減、除却に伴う減少は含まない。

電子ジャーナル提供タイトル数

出版社系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
ScienceDirect (Elsevier)	0	1,889	1,889
IEEE/IET Electronic Library	0	236	236
Oxford Journal Collection	0	351	351
Wiley Online Library	0	1,413	1,413
その他	3	804	807
小計	3	4,693	4,696
アグリゲータ系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
EBSCO Academic Search Premier	0	4,672	4,672
JSTOR	0	169	169
ProQuest	0	7,951	7,951
メディカルオンライン	1,354	0	1,354
その他	5	208	213
小計	1,359	13,000	14,359
合計	1,362	17,693	19,055

電子ブック提供タイトル数

出版社	タイトル数		計
	和	洋	
Academic search premier	0	1,364	1,364
ACM Digital Library	0	8,358	8,358
eBooks on EBSCOhost	268	500	768
JapanKnowledge Lib	2	1,176	1,178
Maruzen eBook Library	1,867	515	2,382
Methods in Enzymology	0	307	307
ProQuest eBook Collection	0	571	571
Science Direct eBook	0	738	738
Springer eBooks	0	19,657	19,657
Wiley-Blackwell Online Books	0	455	455
その他	180	334	2,893
合計	2,317	33,975	36,292

契約データベース一覧

ABSEES (American Bibliography of Slavic and East European Studies)
The Arabidopsis Information Resource (TAIR)
AS FA
Biological Science Database
Book Review Digest
CINAHL
CNKI
EconLit
International Political Science Abstracts
Lexis Advance
MarinLit
MathSciNet
MLA International Bibliography/MLA Directory of Periodicals
Oxford English Dictionary
ProQuest Dissertations & Theses A&I
Reaxys
SciFinder(Academic)
Sociological Abstracts
Ulrich's International Periodicals
Web of Science Core Collection
法情報総合データベースサービス (第一法規)
医学中央雑誌
ジャパンナレッジ Lib
LEX/DB インターネット (TKC)
日経 BP 記事検索サービス
日経テレコン21

(H31.3.31 現在)

利用統計

平成 30 年度利用統計（対象期間：H30.4.1～H31.3.31）

区分	入館者数			貸出統計			相互協力				学内 ILL		レファレンス件数
	学内	学外	計	学生	その他	計	複写依頼	複写受付	貸借依頼	貸借受付	依頼	受付	
附属図書館（本館）	379,553	50,385	429,938	123,342	40,041	163,383	1,285	2,911	642	1,058	69	101	221
附属図書館（北図書館）	665,474	14,197	679,671	133,283	18,681	151,964	164	86	89	69	74	13	1,464
文学研究科・文学部図書室	5,181	18	5,199	1,502	355	1,857	1,014	294	488	95	13	11	489
経済学院・経済学部図書室	15,444	—	15,444	1,245	36	1,281	—	—	—	—	—	—	—
医学研究院・医学院・医学部図書室	49,484	387	49,871	11,086	1,287	12,373	580	874	6	12	9	56	69
歯学研究院・歯学院・歯学部図書室	25,214	186	25,400	4,181	1,414	5,595	18	154	0	6	2	3	383
工学研究院図書室	105,975	190	106,165	20,761	4,785	25,546	99	276	36	20	15	10	73
獣医学研究院図書室	—	22	22	570	192	762	24	83	0	2	12	8	—
水産科学研究院・水産科学院・水産学部図書室	31,289	89	31,378	5,547	372	5,919	30	294	267	80	14	88	421
地球環境科学研究院図書室	2,398	3	2,401	440	196	636	28	15	1	2	30	4	176
理学研究院・理学院・理学部図書室	10,359	0	10,359	6,699	2,360	9,059	135	263	26	21	80	24	231
薬学研究院・薬学部図書室	22,137	6	22,143	2,767	133	2,900	18	29	0	0	7	4	—
農学研究院図書室	44,471	—	44,471	5,116	654	5,770	148	458	9	30	30	47	189
教育学院・教育学研究院図書室	4,353	—	4,353	357	134	491	—	—	—	—	—	—	51
保健科学研究院図書室	32,332	127	32,459	2,690	398	3,088	407	169	4	6	32	18	126
低温科学研究所図書室	783	7	790	46	24	70	6	36	0	1	6	11	184
北キャンパス図書室	3,401	7	3,408	127	60	187	20	57	11	0	12	7	52
計	1,397,848	65,624	1,463,472	319,759	71,122	390,881	3,976	5,999	1,579	1,402	405	405	4,129

経済学部・教育学部は相互協力を附属図書館が担当

主要な電子ジャーナルのアクセス件数（平成 30 年度）

出版社系パッケージ	件数
ScienceDirect (Elsevier)	1,031,992
Wiley Online Library	346,690
SpringerLink	181,415
Oxford Journal Collection	81,750
IEEE/IET Electronic Library	61,527
Cambridge University Journals	1,115
その他	1,221,271
小計	2,925,760
アグリゲータ系パッケージ	件数
メディカルオンライン	80,151
ProQuest	33,715
JSTOR	11,113
EBSCO Academic Search Premier	6,677
Hein Online Standard	4,587
その他	239
小計	136,482
合計	3,062,242

主要なデータベースのアクセス件数（上位 15 データベース）
（平成 30 年度）

データベース名	件数
CNKI	788,237
Web of Science Core Collection	291,753
SciFinder (Academic)	210,238
医学中央雑誌	177,169
日経テレコン 21	98,142
ジャパンナレッジ Lib	85,303
The Arabidopsis Information Resource (TAIR)	49,413
Reaxys	31,824
MathSciNet	31,726
日経BP記事検索サービス	17,683
MarinLit	6,953
LEX/DBインターネット (TKC)	4,647
Lexis Advance	4,102
Ulrich's International Periodicals	4,006
MLA International Bibliography	2,265
合計	1,803,461

図書館 HP 等の利用

区分	学内	学外	計
図書館 HP のアクセス数	1,663,894	3,759,757	5,423,651
OPACの検索回数	1,102,161	730,661	1,832,822
HUSCAPダウンロード件数	57,396	7,037,360	7,094,756
北方資料データベースアクセス件数	286,085	6,376,309	6,662,394
Facebook 総いいね数			2,754

(H31.3.31 現在)

図書館委員会名簿

平成 31 年度図書館委員会委員名簿

平成 31 年 4 月 1 日現在

所 属	職 名	氏 名
理事・副学長	館長・副館長(兼)	長谷川 晃
法学研究科	教 授	田 口 正 樹
水産科学研究院	教 授	高 津 哲 也
地球環境科学研究院	准教授	藤 井 賢 彦
理学研究院	教 授	高 木 昌 興
薬学研究院	准教授	黒 木 喜美子
農学研究院	准教授	尾之内 均
先端生命科学研究院	教 授	相 沢 智 康
教育学研究院	教 授	横 井 敏 郎
メディア・コミュニケーション研究院	准教授	増 田 哲 子
保健科学研究院	教 授	石 津 明 洋
工学研究院	教 授	島 田 敏 宏
経済学研究院	教 授	坂 川 裕 司
医学研究院	教 授	篠 原 信 雄
歯学研究院	准教授	高 橋 茂
獣医学研究院	准教授	下 鶴 倫 人
文学研究院	教 授	池 田 証 壽
情報科学研究院	准教授	松 元 慎 吾
公共政策学連携研究部	准教授	田 中 啓 之
北海道大学病院	教 授	坂 本 直 哉
低温科学研究所	准教授	隅 田 明 洋
電子科学研究所	准教授	近 藤 憲 治
遺伝子病制御研究所	教 授	園 下 将 大
触媒科学研究所	准教授	古 川 森 也
スラブ・ユーラシア研究センター	教 授	岩 下 明 裕
高等教育推進機構	准教授	亀 野 淳
附属図書館事務部	部 長	相 原 雪 乃
附属図書館管理課	課 長	久保田 壮 活
附属図書館利用支援課	課 長	岸 本 一 志
附属図書館研究支援課	課 長	結 城 憲 司

人事往来 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

【平成30年4月1日付発令】

【採用・昇任・配置換え等】

相原 雪乃 附属図書館事務部長 [附属図書館管理課長]
 久保田 壮活 附属図書館管理課長 [東京大学教養学部等図書課長]
 岸本 一志 附属図書館利用支援課長 [附属図書館学術システム課長]
 結城 憲司 附属図書館研究支援課長 [小樽商科大学学術情報課長]
 菊池 満史 附属図書館管理課課長補佐 [附属図書館利用支援課課長補佐]
 茶屋 容子 附属図書館管理課係長 (目録担当) [附属図書館利用支援課係長 (本館閲覧担当)]
 児玉 陽子 附属図書館管理課係長 (図書受入担当) [附属図書館利用支援課付係長 (低温科学研究所事務部)]
 平野 知 附属図書館利用支援課係長 (本館閲覧担当) [附属図書館利用支援課付係長 (函館キャンパス事務部)]
 三隅 健一 附属図書館利用支援課係長 (北図書館担当) [帯広畜産大学学術情報室利用支援係長]
 松尾 真木子 附属図書館研究支援課係長 (農学・食資源学事務部) [附属図書館学術システム課係長 (目録担当)]
 小林 泰名 附属図書館研究支援課係長 (函館キャンパス事務部) [附属図書館管理課係長 (図書受入担当)]
 綾田 陽子 附属図書館研究支援課係長 (低温科学研究所事務部) [附属図書館利用支援課係長 (北図書館担当)]
 久米 未希子 附属図書館管理課 (目録担当) [附属図書館利用支援課付 (文学研究科・文学部事務部)]
 前田 隼 附属図書館管理課 (目録担当) [附属図書館利用支援課 (本館閲覧担当)]
 神谷 実 附属図書館管理課 (雑誌受入担当) [附属図書館利用支援課付 (工学系事務部)]
 佐々木 翼 附属図書館管理課 (雑誌受入担当) [附属図書館管理課 (図書受入担当)]
 額 纈直也 附属図書館管理課 (図書受入担当) [国立情報学研究所学術基盤推進部]
 石丸 恵 附属図書館利用支援課 (北図書館担当) [附属図書館利用支援課付 (理学・生命科学事務部)]
 前田 翔太 附属図書館利用支援課 (本館閲覧担当) [附属図書館学術システム課 (システム管理担当)]
 佐藤 信世 附属図書館利用支援課 (相互利用担当) [附属図書館利用支援課付 (理学・生命科学事務部)]
 高石 しのぶ 附属図書館研究支援課 (研究支援企画担当) [附属図書館学術システム課 (目録担当)]
 守内 美月 附属図書館研究支援課 (研究支援企画担当) [附属図書館管理課付 (歯学事務部)]
 清谷 あさみ 附属図書館研究支援課 (文学研究科・文学部事務部) [附属図書館学術システム課 (目録担当)]
 成田 りさ 附属図書館研究支援課 (医学系事務部) [附属図書館利用支援課付 (医学系事務部)]
 川村 路代 附属図書館研究支援課 (医学系事務部) [附属図書館利用支援課付 (医学系事務部 (保健科学研究院))]
 河野 由香里 附属図書館研究支援課 (歯学事務部) [附属図書館利用支援課 (相互利用担当)]
 嶺野 智康 附属図書館研究支援課 (理学・生命科学事務部) [附属図書館学術システム課 (目録担当)]
 佐藤 亜紀 附属図書館研究支援課 (理学・生命科学事務部) [附属図書館管理課 (雑誌受入担当)]

近藤 絵理子 附属図書館研究支援課 (工学系事務部) [附属図書館学術システム課 (システム管理担当)]
 芝 翔太郎 附属図書館研究支援課 (函館キャンパス事務部) [附属図書館管理課 (雑誌受入担当)]
 小川 聡 附属図書館利用支援課付 (嘱託職員) [東北大学附属図書館総務課長]
 猿橋 キヨミ 附属図書館研究支援課 (嘱託職員) (工学系事務部) [附属図書館利用支援課付係長 (農学・食資源学事務部)]

【出向】

城 恭子 帯広畜産大学学術情報室利用支援係長 [附属図書館利用支援課 (北図書館担当)]

【平成31年3月31日付発令】

【定年】

中林 ゆかり 附属図書館管理課主任 (庶務担当)

【辞職】

横井 有紀 附属図書館利用支援課課長補佐 (奈良女子大学学術情報課長へ)

「附属図書館年報 2018」P27「平成 29 年度利用統計」に誤りがありましたので、下記赤字の通り修正します。

利用統計

平成 29 年度利用統計訂正版（対象期間：H29.4.1～H30.3.31）

区分	入館者数			貸出統計			相互協力				学内 ILL		レファレンス件数
	学内	学外	計	学生	その他	計	複写依頼	複写受付	貸借依頼	貸借受付	依頼	受付	
附属図書館（本館）	413,193	50,646	463,839	132,803	42,129	174,932	1,262	3,377	539	1,394	71	73	337
附属図書館（北図書館）	707,839	14,933	722,772	141,580	19,342	160,923	267	86	62	79	24	8	1,218
文学研究科・文学部図書室	5,183	16	5,199	1,580	415	1,995	1,299	399	548	115	10	30	531
経済学院・経済学部図書室	15,337	423	15,760	1,030	60	1,090	—	—	—	—	—	—	92
医学研究院・医学院・医学部図書室	55,300	362	55,662	9,882	1,538	11,420	784	989	12	6	30	58	154
歯学研究院・歯学院・歯学部図書室	25,184	139	25,323	4,541	1,962	6,503	44	238	0	6	4	4	392
工学研究院図書室	104,584	229	104,813	20,281	4,484	24,765	121	370	30	22	46	52	84
獣医学研究院図書室	—	30	30	1,204	215	1,419	27	73	2	3	12	5	—
水産科学研究院・水産科学院・水産学部図書室	32,538	206	32,744	6,380	577	6,957	28	296	246	107	15	54	425
地球環境科学研究院図書室	3,402	8	3,410	694	204	898	25	22	23	6	23	5	269
理学研究院・理学院・理学部図書室	11,961	0	11,961	6,434	2,959	9,393	152	262	41	20	40	51	194
薬学研究院・薬学部図書室	28,700	12	28,712	3,624	105	3,729	16	40	2	0	5	10	—
農学研究院図書室	45,243	—	45,243	5,396	628	6,024	115	412	38	33	46	36	368
教育学院・教育学研究院図書室	4,241	—	4,241	326	169	495	—	—	—	—	—	—	52
保健科学研究院図書室	36,257	158	36,415	2,830	281	3,111	380	266	6	6	34	14	235
低温科学研究所図書室	398	5	403	20	9	29	13	53	0	1	7	12	132
北キャンパス図書室	2,826	2	2,828	132	59	191	48	65	19	3	53	8	43
計	1,492,186	67,169	1,559,355	338,737	75,136	413,874	4,581	6,948	1,568	1,801	420	420	4,526

経済学部・教育学部は相互協力を附属図書館が担当

北海道大学附属図書館年報 2019

発行 令和元年 7月

編集 北海道大学附属図書館

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL: 011-706-2967 FAX: 011-747-2855

Homepage : <https://www.lib.hokudai.ac.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/hokudailibrary>